

CD/DVDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読み、のうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DVP-S7000



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。53ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりさし込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においが
したら、
煙が出たら



- ❶ 電源を切る
- ❷ 電源プラグをコンセントから抜く
- ❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



強制



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
-----------------	---

準備

付属品を確認する	10
接続する	10
使う前に必要な設定をする	13

ここだけ読んでも使えます

DVDを再生する	14
ビデオCDを再生する	22
CDを再生する	30

その他の操作

繰り返し再生する(リピート再生)	36
順不同に再生する(シャッフル再生)	38
好きな順に再生する(プログラム再生)	38
再生を止めたあと、そのつづきから再生する(つづき再生)	41
画像の背景のちらつきをおさえる(DNR)	41
音声を切り換える	42
字幕を表示する	42
字幕を切り換える	43
アングルを切り換える	43
年齢による視聴制限をする	44
付属のリモコンでテレビを操作する	46

設定と調整

メニューでの設定/調整のしかた	47
再生のしかたの設定(プレイモード)	48
再生する画質の設定(画質調整)	49
表示や音に関する設定(視聴条件)	50
基本的な設定(初期設定)	51

その他

使用上のご注意	53
ディスクの取り扱い上のご注意	53
故障かな?と思ったら	54
保証書とアフターサービス	55
主な仕様	56
用語解説	57
各部のなまえ	58
言語コード一覧表	61

索引	裏表紙
----------	-----



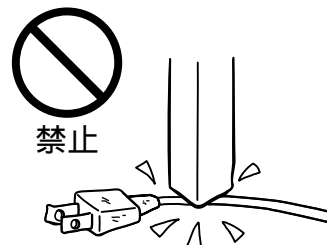
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・ 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に変換をご依頼ください。



湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本体上面や本体近くに物を置かないようにしてください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解や改造をしない

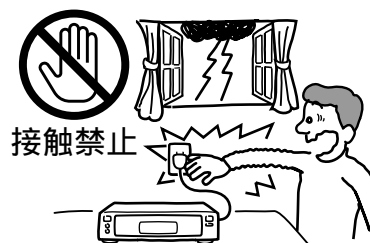
火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに
触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電
源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

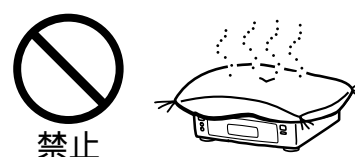
ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



本体を布団などでおおった状態で使用しない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や
家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過
熱して火災や感電の原因となることがあります。



(次ページへ続く)



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、本機のように雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



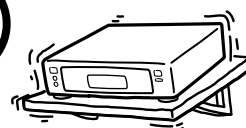
禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



禁止

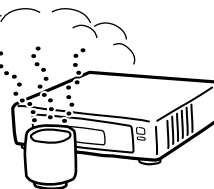


前面パネルやトレイの前に物を置かない

本体前面のパネルやディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。

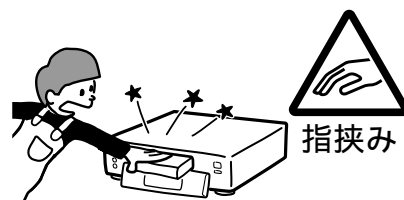


禁止



幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。じゅうぶんに注意して接続、配置してください。



強制

移動するとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

移動するとき、長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



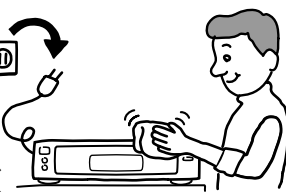
プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く



ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。



禁止



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

この取扱説明書の使いかた

- 「準備」(10～13ページ)をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(14～21ページ)、「ビデオCDを再生する」(22～29ページ)、「CDを再生する」(30～35ページ)をご覧ください。
- さらに進んだ使い方については、36ページ以降をご覧ください。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っていると便利な情報です。
	DVDビデオで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

ディスクの種類	DVDビデオ		ビデオCD		音楽用CD	
ディスクに付いているマーク(ロゴ)						
記録しているもの	音声 + 映像		音声 + 映像		音声	
ディスクの大きさ	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm	8cm (CDシングル)
最長再生時間	約4時間(片面) 約8時間(両面)	約80分(片面) 約160分(両面)	74分	20分	74分	20分
この取扱説明書で基本的な使い方を説明しているページ	14ページ～21ページ		22ページ～29ページ		30ページ～35ページ	

"DVD VIDEO" ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDには $\textcircled{2}$ のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または $\textcircled{ALL}$ の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。

DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただしそれらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明

• タイトル

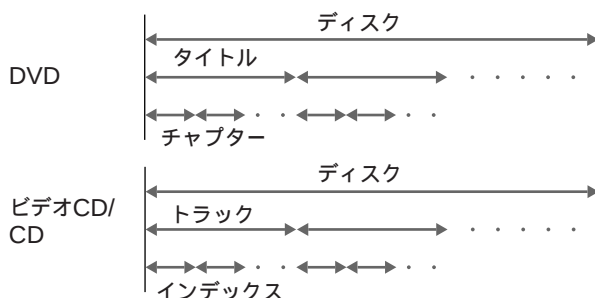
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

• チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

• トラック

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。



• インデックス

ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

• シーン

PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

PBC(プレイバックコントロール)について(ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)にも対応しています。(PBCとは、プレイバック コントロール Playback Controlの略です。)

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD(バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)	上記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(PBC再生、25ページ)。また、高精細の静止画も再生できます。

本機で再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生することはできません。

- CD-ROM (PHOTO CDを含む)
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM

- 一部のDVDソフトウェアは、本機のNTSC出力からコピー防止信号を発生させる特別な信号を含んでいます。再生時に画面に障害が生じた場合には、ソフトウェア上の特別な信号によって発生するコピー防止信号とお客様のディスプレイの間に互換性がないことが原因している可能性があります。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバーエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

付属品を確認する

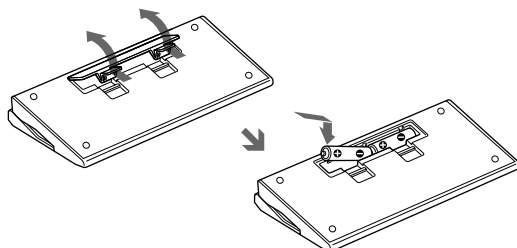
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- 映像コード
(ピンプラグ×1↔ピンプラグ×1)(1)
- 音声コード
(ピンプラグ×2↔ピンプラグ×2)(1)
- S映像コード(1)
- リモコン RMT-D101J(1)
- ソニー乾電池SUM-3(NS)(2)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池(付属)2個を入れる。



💡 リモコンでソニー製の㊦マーク付きテレビを操作できます。
46ページをご覧ください。

💡 乾電池の寿命は約6か月です。
残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換してください。

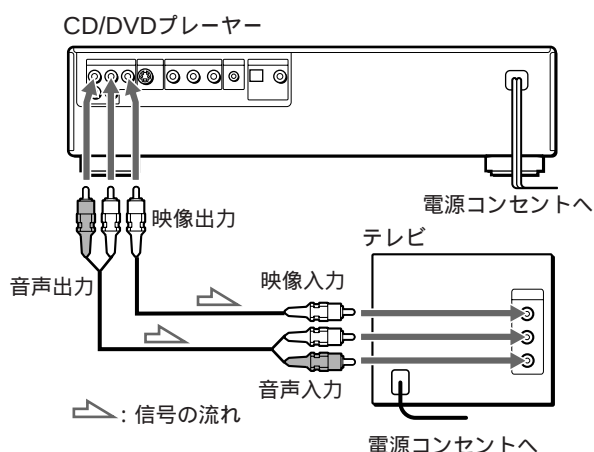
ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部㊦に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。
リモコンで操作できないことがあります。

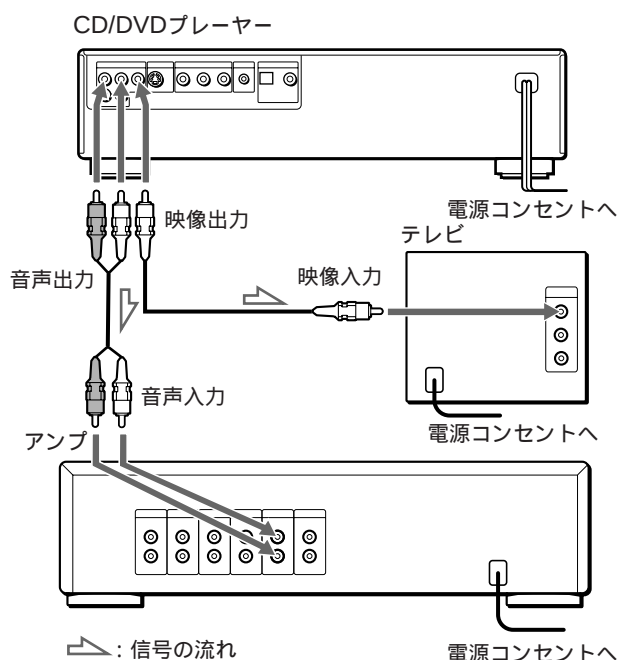
接続する

テレビやアンプとCD/DVDプレーヤーを接続します。
なお、本機は映像入力端子がないテレビには接続できません。接続するときは、機器の電源を必ず切ってください。

■ テレビのスピーカーから音を出すとき



■ アンプにつないだスピーカーから音を出すとき



以下の手順でつなぎます。

1 必要な接続コードを用意する。

映像コード(付属)

黄(映像)  黄(映像)

音声コード(付属)

白(左、L)  白(左、L)

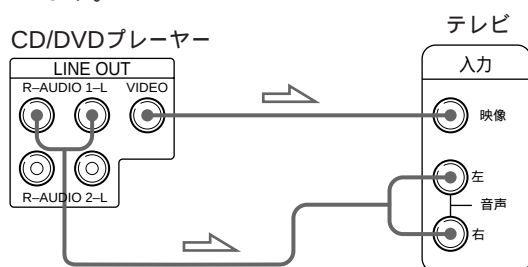
赤(右、R)  赤(右、R)

2 つなぐ。

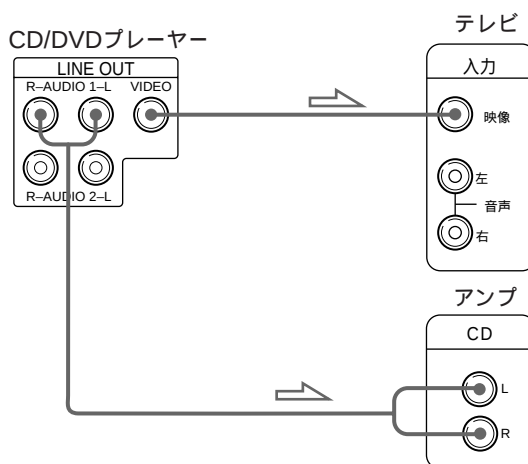
黄(映像)端子に黄プラグを、白(左、L)端子には白プラグを、赤(右、R)端子には赤プラグをつなぎます。

つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音やノイズの原因になります。

- テレビのスピーカーから音を出すとき
映像/音声コード(付属)でテレビにつなぎます。



- アンプにつないだスピーカーから音を出すとき
映像コード(付属)でテレビにつなぎ、音声コード(付属)でアンプにつなぎます。

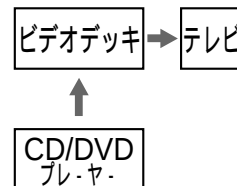


アンプがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。

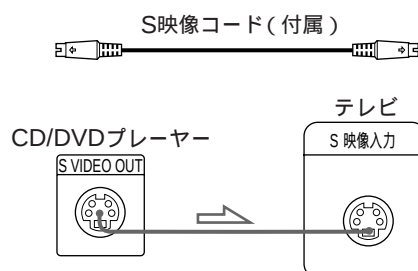
3 電源コードをコンセントにつなぐ。 コンセントにつなぐとPOWERスイッチのランプが赤く点灯します。

ご注意

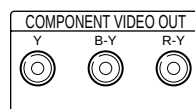
- 右記のようにビデオデッキを経由して本機の映像をテレビで見ようとすると、画像が乱れることがあります。本機とビデオデッキは接続しないでください。
- テレビやアンプによっては音声出力のレベルが高く、音が歪むことがあります。そのときはメニューの「視聴条件変更」から「オーディオ ATT」を選んで「入」にしてください。(くわしくは50ページをご覧ください。)



- 💡 S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは黄色の映像コードでつなぐ代わりに、S映像コード(付属)を使ってつなぎます。さらに鮮明な映像が楽しめます。



- 💡 本機のコンポーネントビデオ出力端子(Y、B-Y、R-Y)の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターにつなぐときは手順2でコンポーネント映像コード(別売り)または同じ映像コード3本(別売り)を使います。より高画質の映像が楽しめます。



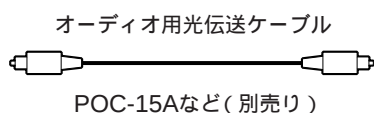
ご注意

- つなぐ機器の説明書もご覧ください。
- ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子(Y、P_B、P_R)とは接続できません(Y、B-Y、R-Yとの兼用端子であれば接続することができます)。

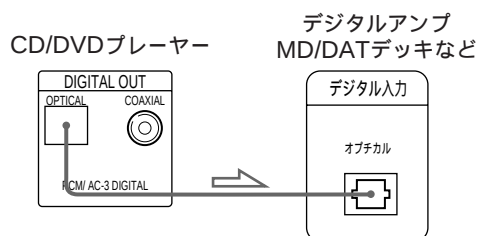
ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号DD、AC-3およびプロロジックはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

- 💡 デジタル端子付きのアンプやMDデッキ、DATデッキにつなぐときはオーディオ用光伝送ケーブル(別売り)またはオーディオ用同軸ケーブル(別売り)を使います。この接続をしたときは、DVD再生時はメニューの「初期設定」の「DVDデジタル出力」を「PCM」に、ビデオCD再生時は「ビデオCDデジタル出力」を「入」に設定しておきます(52ページ)。

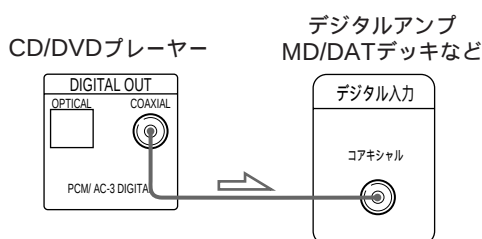
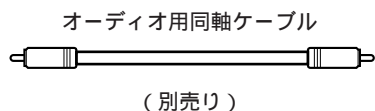
光伝送ケーブルを使うとき



端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。



同軸ケーブルを使うとき



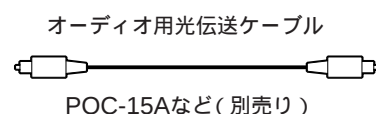
ご注意

- つなぐ機器の説明書をご覧ください。
- ドルビーデジタル(AC-3)方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

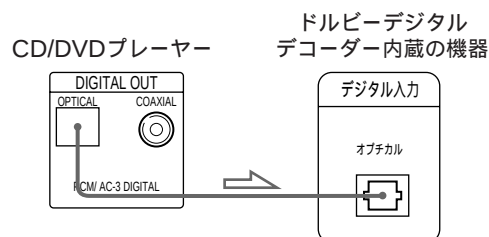
この接続をしたときはメニューの「初期設定」の「DVDデジタル出力」を「AC-3 Digital」にしないでください。突然大音量が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

- 💡 ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐときはオーディオ用光伝送ケーブル(別売り)またはオーディオ用同軸ケーブル(別売り)を使います。ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器につなぐと、ドルビーデジタル(AC-3)方式でDVDに記録されている音声を、映画館やコンサートホールにいるような迫力で再生できます。この接続をしたときは、メニューの「初期設定」の「DVDデジタル出力」を「AC-3 Digital」に設定しておきます(52ページ)。

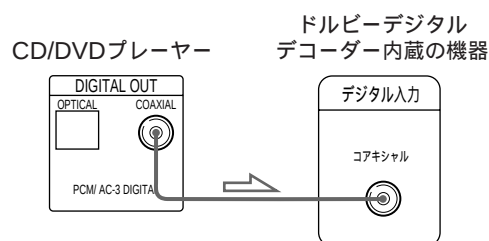
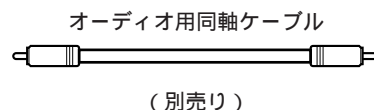
光伝送ケーブルを使うとき



端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかりと差し込みます。



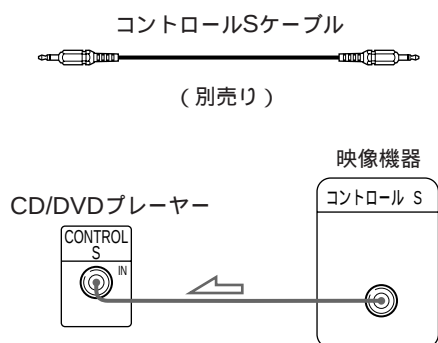
同軸ケーブルを使うとき



ご注意

つなぐ機器の説明書をご覧ください。

💡 **コントロールS端子のある映像機器につなぐときは**
 手順2で映像および音声のコードをつないでから、コントロールSケーブル(別売り)で接続します。コントロールSケーブルでつなぐと、つないだ他機から本機を制御できます。くわしくはつないだ機器の説明書をご覧ください。



使う前に必要な設定をする

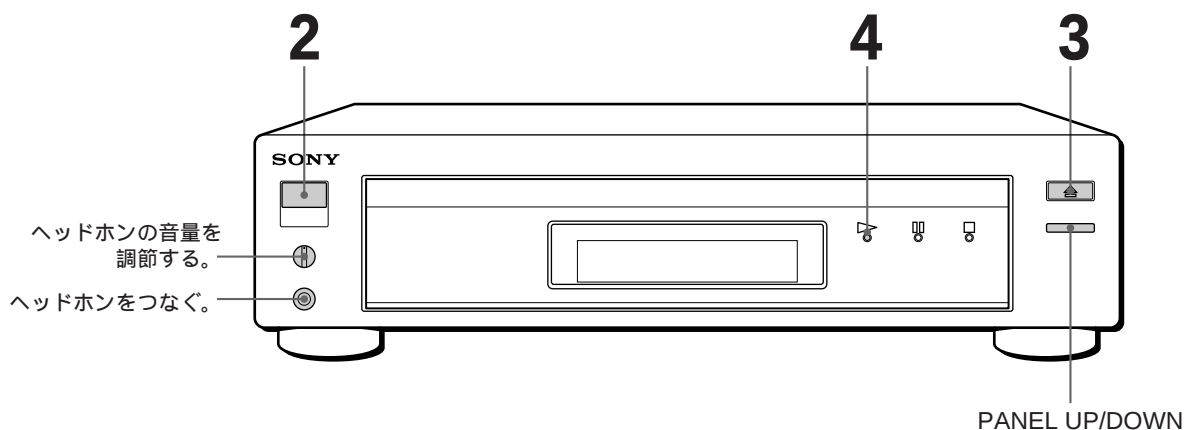
接続したテレビやその他の機器に合わせて、CD/DVDプレーヤーの設定をします。設定のしかたは47ページを、設定内容については51～52ページをご覧ください。

- **ワイドテレビとつないだとき**
 メニューの「初期設定」の「TVタイプ」を「16:9」にする。
- **通常のテレビとつないだとき**
 メニューの「初期設定」の「TVタイプ」を「4:3」にする。
- **通常のアンプにつないでステレオで音を出すとき(またはテレビのスピーカーから音を出すとき)**
 メニューの「初期設定」の「ダウンミックス」を「ノーマル」にする。
- **ドルビープロロジックサラウンド対応アンプにつないで音を出すとき**
 メニューの「初期設定」の「ダウンミックス」を「サラウンド」にする。
- **デジタルアンプにつないで音を出すとき/MDやDATなどのデジタル機器に出力するとき**
 メニューの「初期設定」の「DVDデジタル出力」を「PCM」に、「ビデオCDデジタル出力」を「入」にする。
- **ドルビーデジタルデコーダー内蔵のデジタル機器につないで音を出すとき**
 メニューの「初期設定」の「DVDデジタル出力」を「AC-3 Digital」にする。

その他、初期設定には「画像アスペクト」「画面表示言語」などがあります。くわしくは51ページをご覧ください。

基本的な使いかたは、「DVDを再生する」(次ページから)、「ビデオCDを再生する」(22ページから)、「CDを再生する」(30ページから)をご覧ください。
 その他の使いかたは、36ページからをご覧ください。

DVDを再生する



- ビデオCD、CDの再生については下記のページをご覧ください。(操作方法が異なります。)
ビデオCD: 22ページ
CD: 30ページ



リモコンでも電源を入れることができます。
本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。



選択用の画面が表示されたときは
再生するDVDによっては手順4を行うとタイトルメニューやDVDメニューが表示される場合があります。くわしくは17ページ、18ページをご覧ください。

再生するDVDに付属の説明書も必ずご覧ください。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

POWERスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

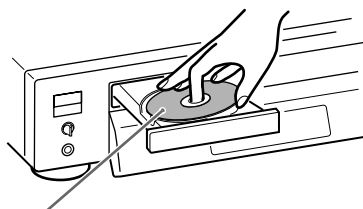
合を押す。

前面パネルが下がり、ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイと前面パネルが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



再生したい面を下に

前面パネルを開閉するには
本体の PANEL UP/DOWN を押す。



表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。

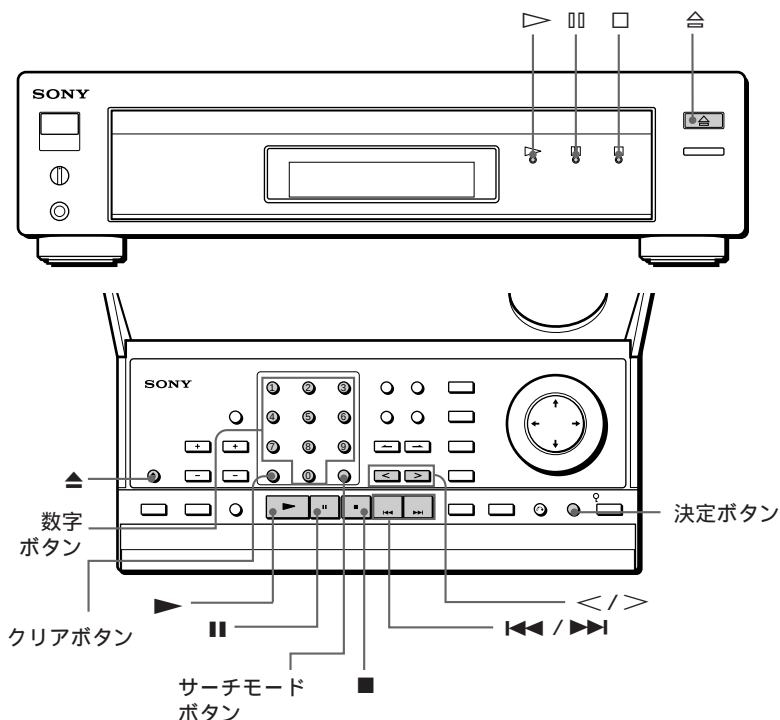
再生を止めた場所のつづきから再生できます。DVDの最初から再生したいときは41ページをご覧ください。

ご注意

DVDによってはつづき再生ができない場合があります。

止めるときは

□(停止)ボタンを押す。



その他の操作

いろいろな再生

こんなときは	このボタンを押す
途中で止める	⏏
途中で止めたあと、つづきを再生する	⏏または▶
再生中にチャプターを進める	▶▶
再生中にチャプターを戻す	◀◀
再生するチャプターを選ぶ	数字ボタンでチャプター番号を選び、決定ボタン(または▶)
再生するタイトルを選ぶ	1 画面に「タイトルサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを何度か押す 2 数字ボタンでタイトル番号を選び決定ボタン(または▶)
再生を始める時間を選ぶ	1 画面に「タイムサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを何度か押す 2 数字ボタンで時間を入力し決定ボタン(または▶)
2倍速再生	> (再生方向) または< (逆方向)
ディスクを取り出す	⏏



タイトル/チャプターとは？
9ページをご覧ください。



数字ボタンの入力を間違えたときは
クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押します。



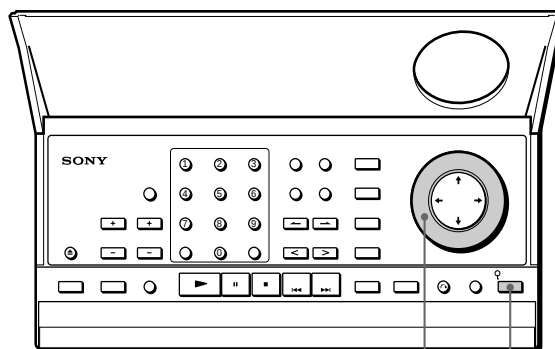
サーチモードボタンを押すたびに
「チャプターサーチ」「タイトルサーチ」「タイムサーチ」が表示されます。

ご注意

- DVDによっては操作が禁止されている場合があります。
- 2倍速再生時には画像に対応した音声(通常より小さい音)が LINE OUT (AUDIO 1,2) 端子より出力されます。この場合、DIGITAL OUT端子からは音声は出力されません。

速さを変えて再生するには

リモコンのクリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生することができます。



クリックシャトル ジョグボタン

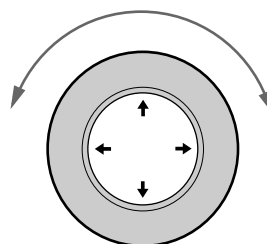
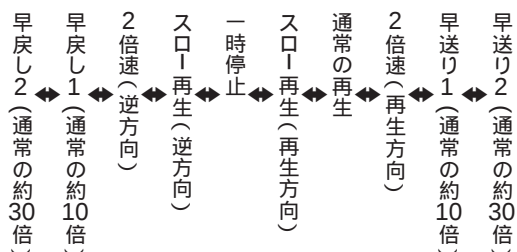
ご注意

- DVDによっては操作が禁止されている場合があります。
- 2倍速再生時には画像に対応した音声(通常より小さい音)が LINE OUT (AUDIO 1,2)端子より出力されます。この場合、DIGITAL OUT端子からは音声は出力されません。

■ 再生の速さを変える(シャトルモード)

クリックシャトルを回す。

回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。



いきおいよくすばやく回すと早送り2/早戻し2になります。



ジョグボタンを押してから、クリックシャトルに触れないで20秒たつとシャトルモードに戻ります。

■ 速さを手元で変えながら再生する(ジョグモード)

- 1 ジョグボタンを押す。
- 2 クリックシャトルを回す。

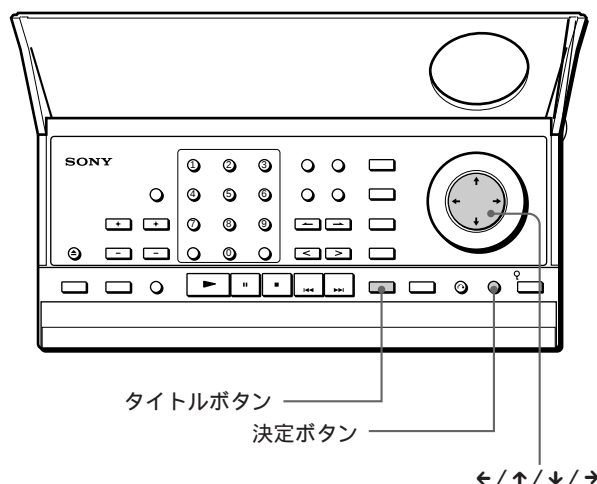
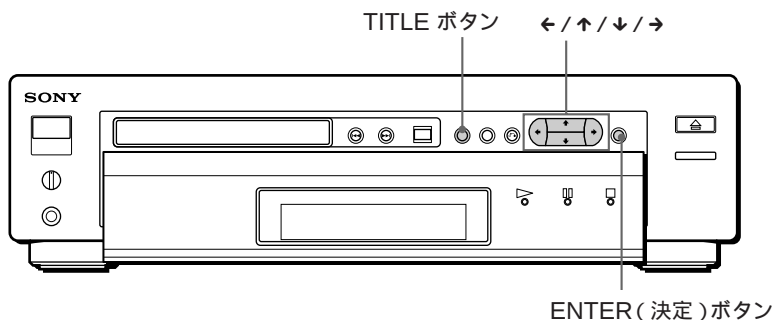
回すスピードに応じて再生方向または逆方向に、コマ送りされます。ある程度以上一定の速さで回していると、スローまたは普通の再生になります。

ご注意

- DVDによってはタイトルを選ぶことが禁止されている場合があります。
- DVDによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」と表示しているものがあります。また手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

タイトルメニューの使いかた

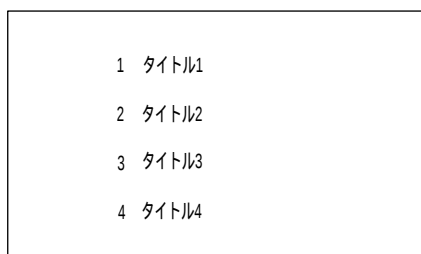
DVDには、複数のタイトルが記録されたものがあります。タイトルとはDVDに記録されている映像や曲の大きな区切りのことをいいます。このようなDVDを再生するときは、タイトルメニューを使って好きなタイトルを選べます。



1

タイトル/TITLEボタンを押す。

タイトルメニューが表示されます。タイトルメニューはDVDにより異なります。



2

再生したい タイトルを← / ↑ / ↓ / →で選ぶ。

(DVDによってはリモコンの数字ボタンでタイトルを選べるものもあります。)

3

決定ボタンを押す。

選んだタイトルの再生が始まります。



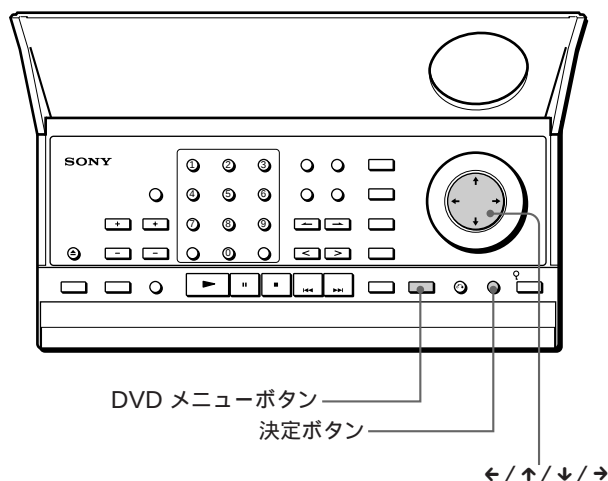
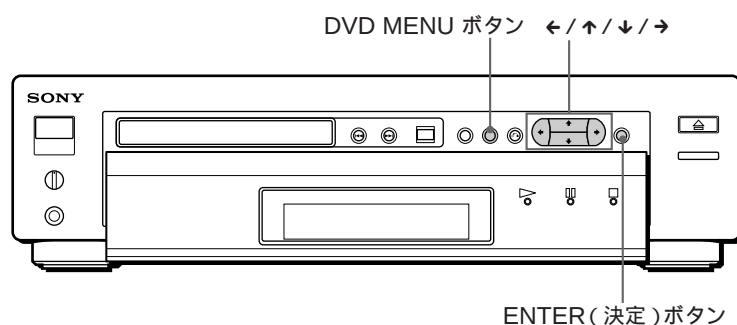
DVDメニューで表示される言語を変えるときは通常のメニューの「初期設定」で変更できます。詳しくは51ページをご覧ください。

ご注意

DVDによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」と表示しているものがあります。また手順4で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

DVDメニューの使いかた

DVDには、ディスクの内容をメニューで選択できるものがあります。このようなDVDを再生するときは、再生したい項目、表示したい字幕の言語、聞きたい音声の言語などをDVDメニューで選べます。



1

DVDメニューボタンを押す。

DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。

- ・ 項目1
- ・ 項目2
- ・ 項目3
- ・ 項目4

2

選ぶたい項目を← / ↑ / ↓ / →で選ぶ。

(DVDによってはリモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。)

3

別の項目を変更したいときは、手順2を繰り返す。

4

決定ボタンを押す。

画面表示 1 ←

↓

画面表示 2

↓

画面表示 3

↓

画面表示 切

現在のタイトル 現在の
 チャプター
現在のチャプターの
 経過時間*

タイトル 3	チャプター 1	01:32:15
--------	---------	----------

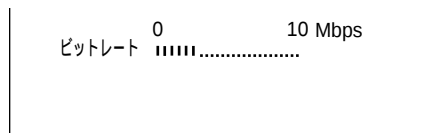
19



ビットレートとは？
DVDに記録されている画像の1秒あたりの情報量を示す値です。ビットレートが大きいほど情報量が多くなりますが、必ずしも画質がよいとは限りません。

■ 画面表示 3

再生中に、再生している画像のおよそのビットレートを常に表示します。



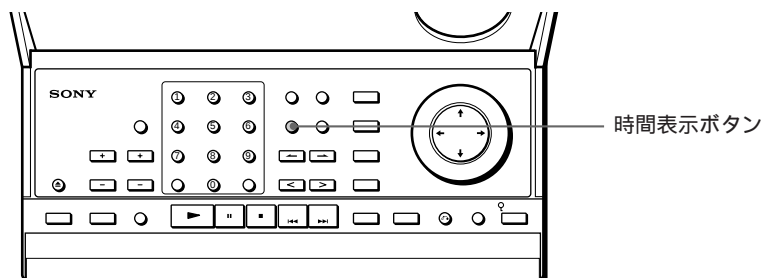
再生中の画像のビットレート

■ 画面表示 切

何も表示しません。(メッセージなどは表示されます。)

表示窓の見かた

表示窓を使って、DVD内の全タイトル数や残り時間などを調べることができます。



■ 再生中の表示窓

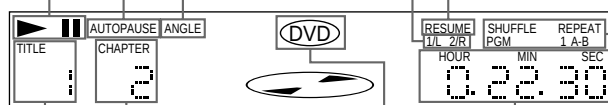
オートポーズ (DVDのオートポーズの信号が入っている場所にきたときに点灯)

音声表示

再生状態

アングルを切り換えられるときに点灯

つづき再生できるときに点灯



プレイモード

再生中のタイトル

再生中のチャプター

ディスク表示

経過時間表示

ご注意

DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合があります。

■ 再生の残り時間を調べる

再生中、リモコンの時間表示ボタンを押す。

押すたびに再生中のタイトルまたはチャプターの残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

再生中のチャプター番号と経過時間



再生中のチャプターの残り時間



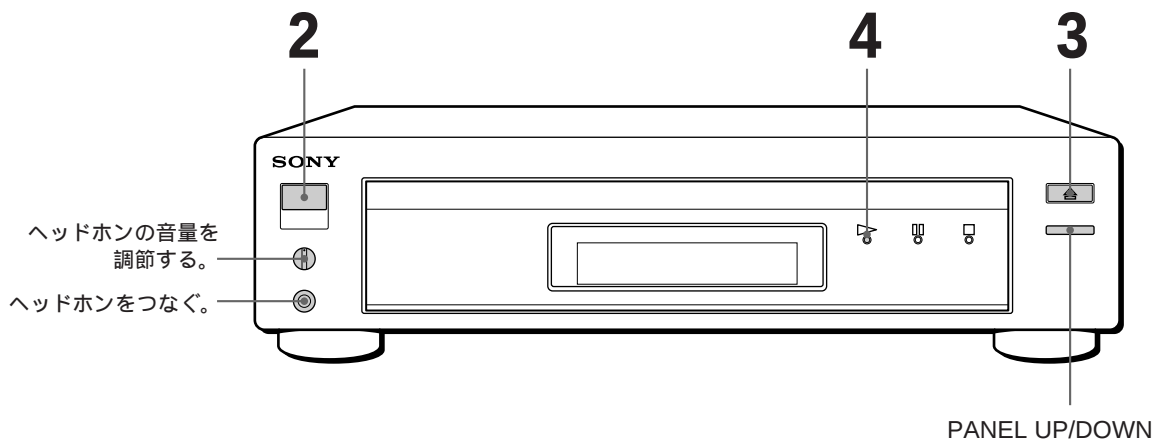
再生中のタイトル番号と経過時間



再生中のタイトルの残り時間



ビデオCDを再生する



- DVD、CDの再生については下記のページをご覧ください。
(操作方法が異なります。)
DVD: 14ページ
CD: 30ページ



リモコンでも電源を入れることができます。
本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。



メニュー画面が表示されたときは
ビデオCDによっては手順4を行うとテレビ画面にメニューが表示される場合があります。その後は、表示されたメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生していきます(PBC再生)。PBC再生の操作のしかたについては、25ページをご覧ください。

再生するビデオCDに付属の説明書も必ずご覧ください。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

POWERスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

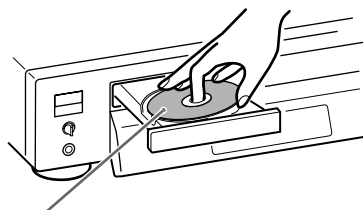
合を押す。

前面パネルが下がり、ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイと前面パネルが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。テレビまたはアンプで音量を調節します。



文字の書いてある面を上

前面パネルを開閉するには
本体の PANEL UP/DOWN を押す。



表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。

再生を止めた場所のつづきから再生できます。ビデオCDの最初から再生したいときは41ページをご覧ください。



トラック/インデックス/シーンとは？

9ページをご覧ください。



数字ボタンの入力を間違えたときは
クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押します。



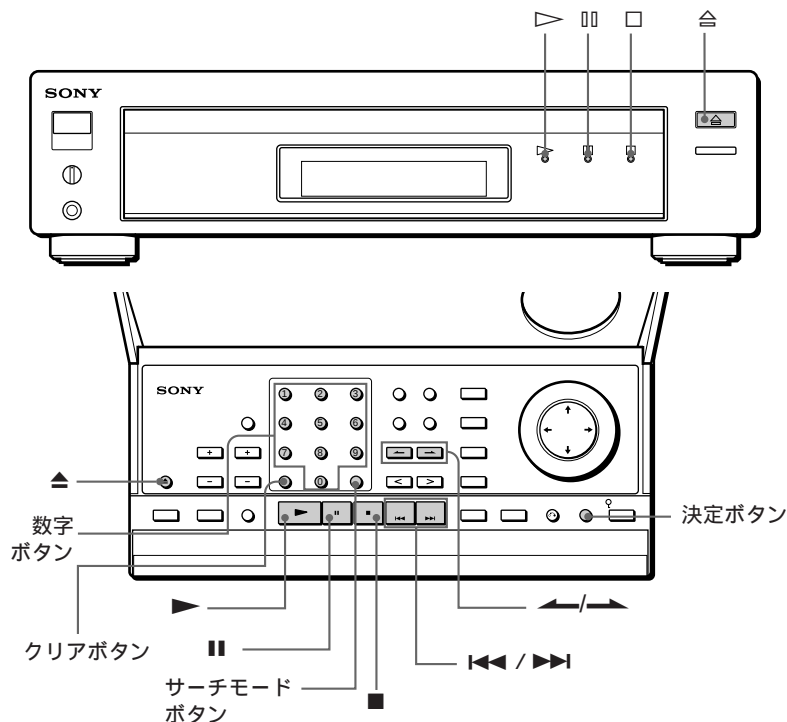
サーチモードボタンを押すたびに
「トラックサーチ」「シーンサーチ」「ビデオインデックスサーチ」が表示されます。

ご注意

- ビデオCDによっては、選んだシーンから再生できない場合があります。ビデオCDには特定のシーンからの再生を禁止しているものがあり、そのときは、停止中はシーン1から、再生中はシーンを選んだときに再生していたシーンから再生します。
- ビデオCDによっては、選んだシーンの映像が出ないことがあります。

止めるときは

□(停止)ボタンを押す。

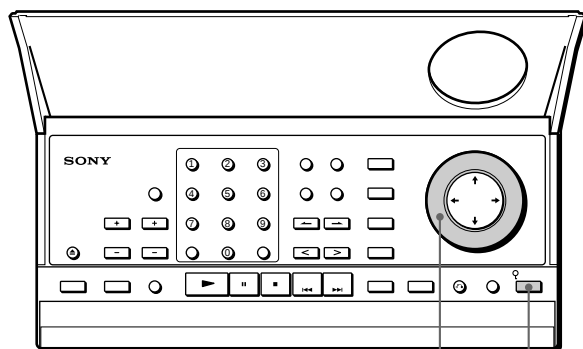


いろいろな再生

こんなときは	このボタンを押す
途中で止める	⏏
途中で止めたあと、つづきを再生する	⏏または▶
再生中にトラックを進める	▶▶
再生中にトラックを戻す	◀◀
再生するトラックを選ぶ	数字ボタンでトラック番号を選び、決定ボタン(または▶)
再生するインデックスを選ぶ(再生時のみ)	➡(再生方向)または◀(逆方向)
再生するシーンを選ぶ(PBC対応ディスクの停止中またはPBC再生時)	- 画面に「シーンサーチ」が表示されるまでサーチモードボタンを何度か押す - 数字ボタンでシーン番号を入力し決定ボタン(または▶) (再生中のシーン番号は画面表示ボタンを押すとテレビ画面左上に表示されます)
ディスクを取り出す	⏏

速さを変えて再生するには

リモコンのクリックシャトルとジョグボタンを使って、いろいろな速さで再生することができます。

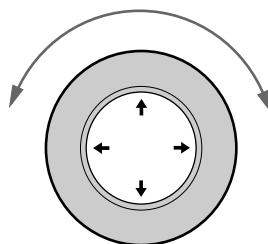
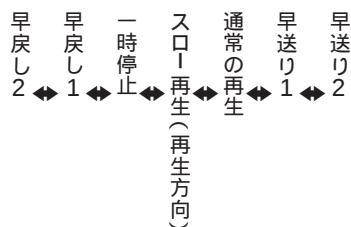


クリックシャトル ジョグボタン

ご注意
ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

■ 再生の速さを変える(シャトルモード)

クリックシャトルを回す。
回す向きと角度に応じて次のように再生の速さが変わります。



いきおいよくすばやく回すと早送り2/早戻し2になります。



ジョグボタンを押してから、クリックシャトルに触れないで20秒たつとシャトルモードに戻ります。

■ 速さを手元で変えながら再生する(ジョグモード)

- 1 ジョグボタンを押す。
- 2 クリックシャトルを回す。

回すスピードに応じて再生方向のみに、コマ送りされます。
ある程度以上一定の速さで回していると、スローまたは普通の再生になります。



PBC対応のビデオCDを再生したときは

自動的にPBC再生が始まります。



PBC対応のビデオCDをPBC機能を使わないで再生する(ふつうの再生にする)ときは

次の2つの方法があります。

- 停止中、**II**または**III**を押して再生したいトラックを選んでから**III**または決定ボタンを押す。
- 停止中、リモコンの数字ボタンで再生したいトラック番号を押してから**III**または決定ボタンを押す。

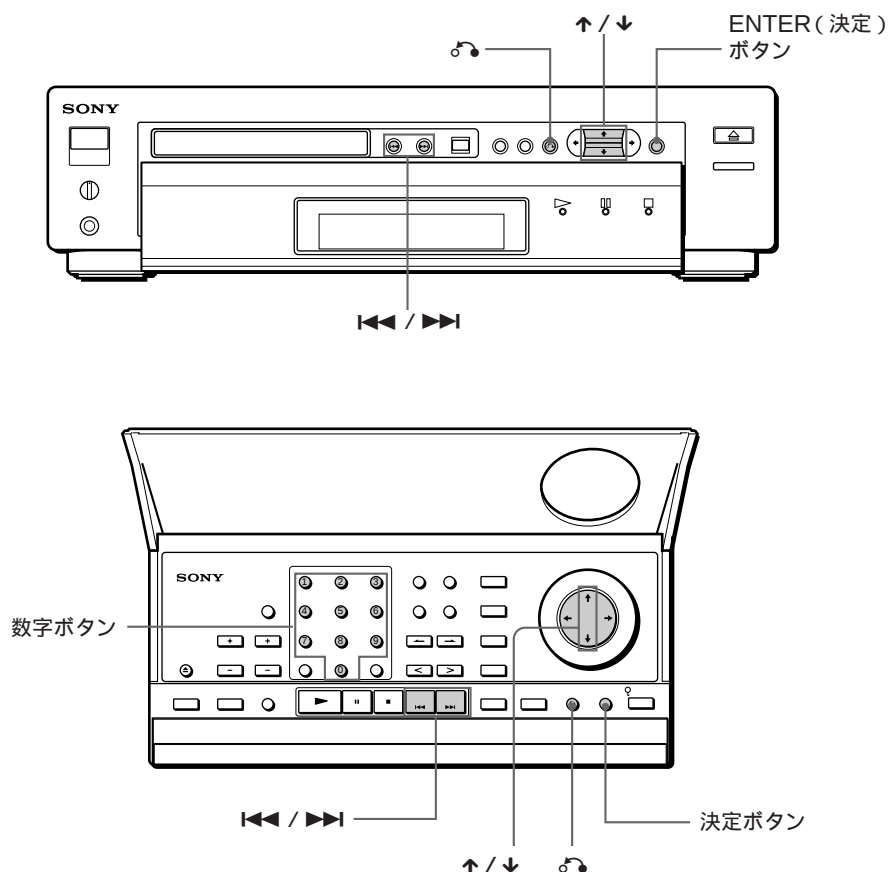
画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふつうの再生(トラック番号順に再生)が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

プレイバックコントロール機能を使う(PBC再生)

PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)では、PBC(プレイバックコントロール)機能を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを楽しめます。

PBC再生とは、PBC機能でテレビ画面に表示される選択用のメニュー画面を使って、対話形式で再生を進めていくことをいいます。

本機では、数字ボタンと、決定、**II**、**III**、**リターン**、**↑/↓**ボタンを使って、PBC再生を進めていきます。



1 「ビデオCDを再生する」(22ページ)の手順1から手順4を行って、PBC対応ビデオCDの再生を始める。

2 選択用のメニュー画面の中で行いたい(再生したい)項目の番号を選ぶ。

↑/↓ボタンで項目の番号に合わせるか、リモコンの数字ボタンで項目の番号の数字ボタンを押します。

(次ページへ続く)

ご注意

ビデオCDによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示しているものがあります。

3

決定ボタンを押す。

4

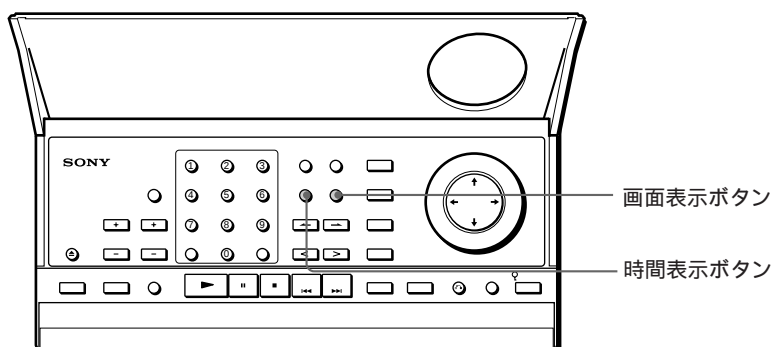
テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などに従って、対話形式で再生を進める。

PBC再生中は、次の操作を繰り返して再生を進めていきます。操作の方法はビデオCDによっても異なることがありますので、ビデオCDに付属の説明書もご覧ください。

こんなときは	操作のしかた
項目を選ぶ	↑/↓ボタンで、項目の番号を選ぶ。 - 決定ボタンを押す。
選択用のメニュー画面に戻る	- リモコンの数字ボタンで項目の番号を押す。 - 決定ボタンを押す。 一般的なPBC対応ビデオCDでは、 (リターン) または 、 のいずれかのボタンを押す。

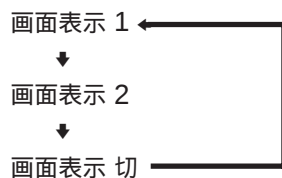
テレビ画面表示の見かた

現在の動作状態や入っているビデオCDの情報を、停止中または再生中に映像に重ねてテレビ画面に表示できます。



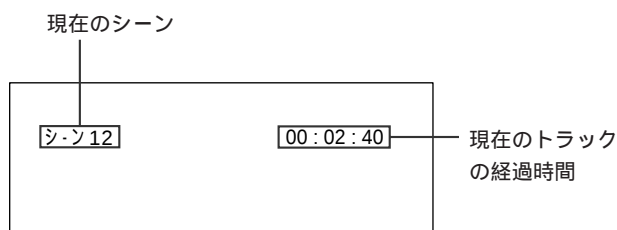
リモコンの画面表示ボタンを押す。

押すたびにテレビ画面の表示内容は次のように変わります。

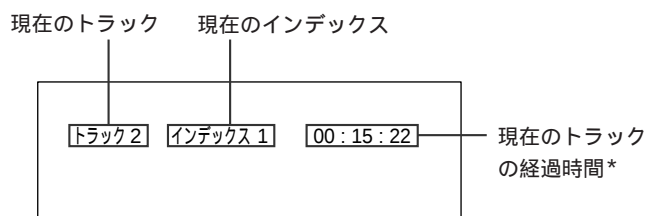


■ 画面表示 1

• PBC再生のとき

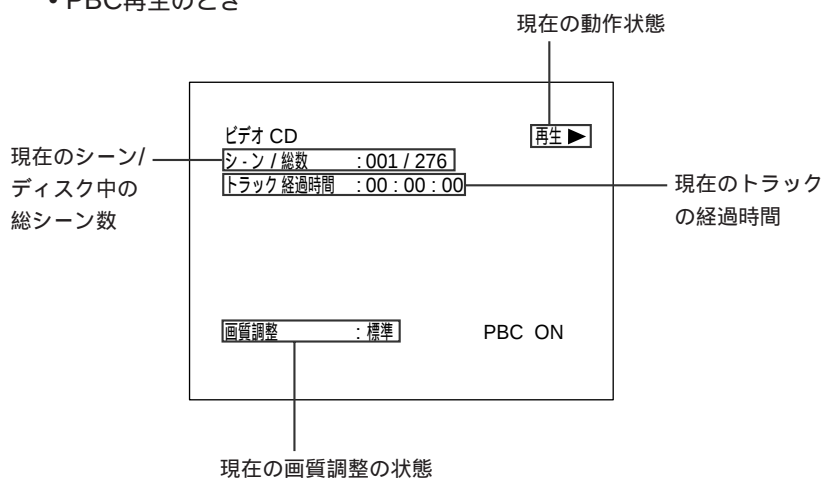


• PBC再生をしていないとき



■ 画面表示 2

• PBC再生のとき



シーンとは？

9ページをご覧ください。



プレイモードとは？

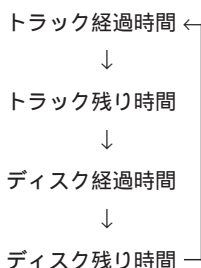
48ページをご覧ください。



トラックとは？

9ページをご覧ください。

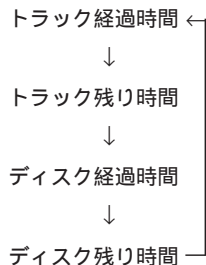
*時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



なお、シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク残り時間は表示されません。

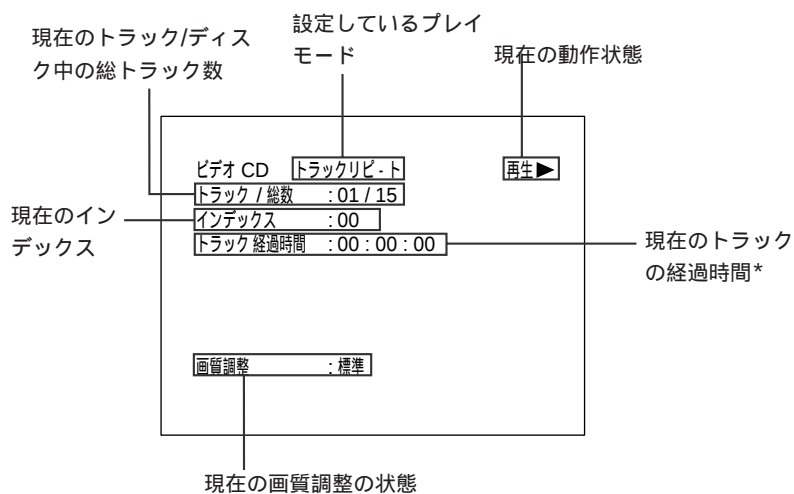
(次ページへ続く)

*時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



なお、シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク残り時間は表示されません。

• PBC再生をしていないとき

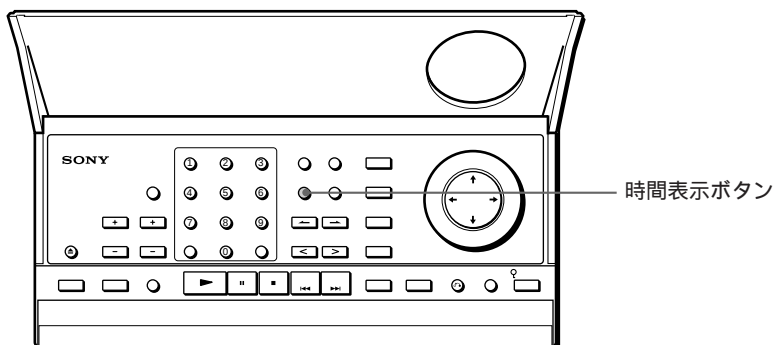


■ 画面表示 切

何も表示しません(メッセージなどは表示されます)。

表示窓の見かた

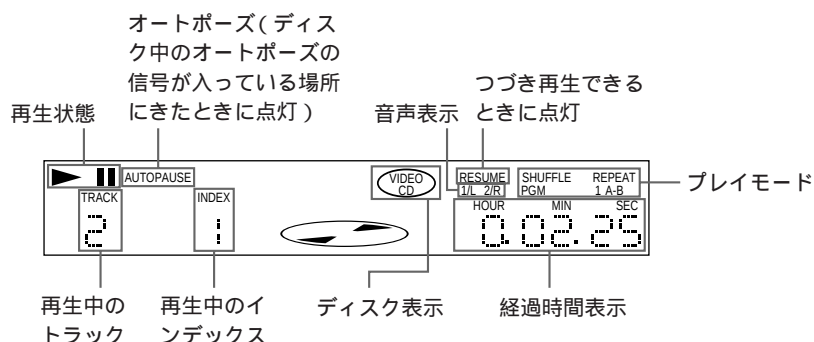
表示窓を使って、ビデオCD内の全トラック数や残り時間などを調べることができます。





PBC再生のときは
トラック番号、インデックス番号の代わりに再生中のシーン番号が表示されます。このとき時間表示ボタンを押しても表示窓は変化しません。

■ 再生中の表示窓



■ 再生の残り時間を調べる(PBC再生をしていないとき)

再生中、時間表示ボタンを押す。

押すたびに再生中のトラックまたはディスク全体の残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

ご注意

シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

再生中のトラック番号と経過時間



再生中のトラックの残り時間



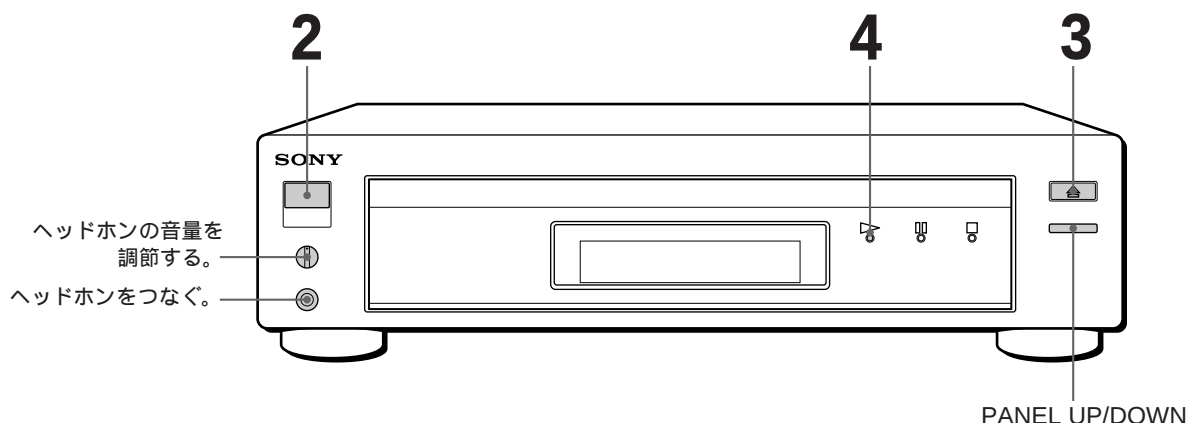
ディスク経過時間



ディスク全体の残り時間



CDを再生する



- DVD、ビデオCDの再生については下記のページをご覧ください。
(操作方法が異なります。)
DVD: 14ページ
ビデオCD: 22ページ



リモコンでも電源を入れることができます。
本体前面のPOWERスイッチのランプが赤く点灯しているとき、電源ボタンを押します。

1

テレビの準備は

テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの画像が映るようにします。

アンプをつないでスピーカーから音を出すときは

アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCD/DVDプレーヤーの音声聞こえるようにします。

2

電源を入れる。

POWERスイッチのランプ(赤)が緑に変わり、表示窓が点灯します。

3

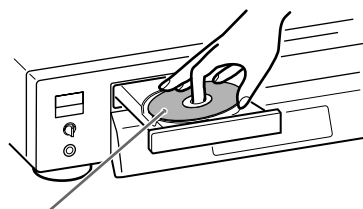
合を押す。

前面パネルが下がり、ディスクトレイが手前に開きます。

4

ディスクを置いて、▶を押す。

ディスクトレイと前面パネルが閉まり、再生が始まります(ふつうの再生)。アンプで音量を調節します。



文字の書いてある面を上

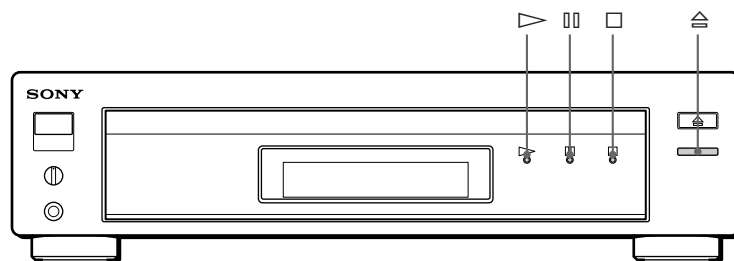
前面パネルを開閉するには
本体の PANEL UP/DOWN を押す。



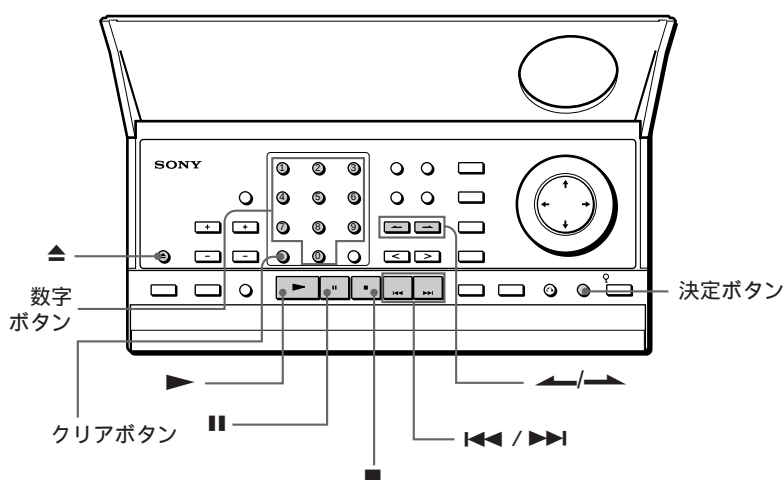
表示窓の「RESUME」が点灯中は、つづきから再生できます。

再生を止めた場所のつづきから再生できます。CDの最初から再生したいときは41ページをご覧ください。

止めるときは
□を押す。



その他の操作



トラック/インデックスとは？
9ページをご覧ください。

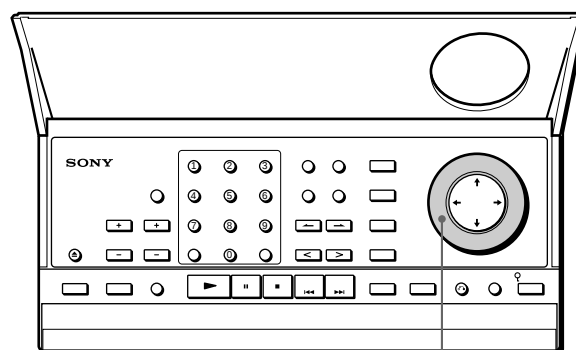


数字ボタンの入力を間違えたときは
クリアボタンを押してから正しい数字ボタンを押します。

いろいろな再生

こんなときは	このボタンを押す
途中で止める	⏏
途中で止めたあと、つづきを再生する	⏏または▶
再生中に曲を進める	⏭
再生中に曲を戻す	⏮
再生する曲を選ぶ	数字ボタンでトラック番号を選び決定ボタン (または▶)
再生するインデックスを選ぶ	➡ (再生方向) または ⬅ (逆方向)
ディスクを取り出す	⏶

早送り/早戻しをするには

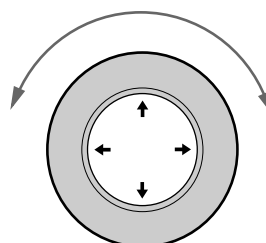


クリックシャトル

■ 早送り/早戻しの速さを変える（シャトルモード）

クリックシャトルを回す。

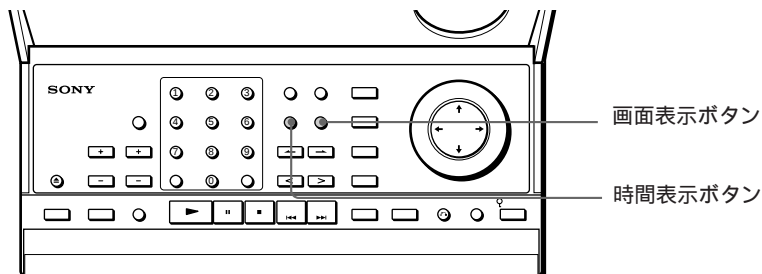
回す向きと角度に応じて次のように早送り/早戻しの速さが変わります。



いきおいよくすばやく回すと早送り2/早戻し2になります。

テレビ画面表示の見かた

現在の動作状態や入っているディスクの情報を、停止中または再生中に映像に重ねてテレビ画面に表示できます。

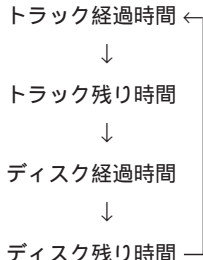


トラックとは？
9ページをご覧ください。



プレイモードとは？
48ページをご覧ください。

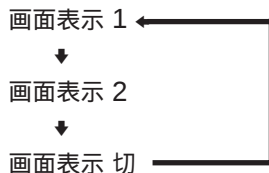
*時間表示ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。



なお、シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク残り時間は表示されません。

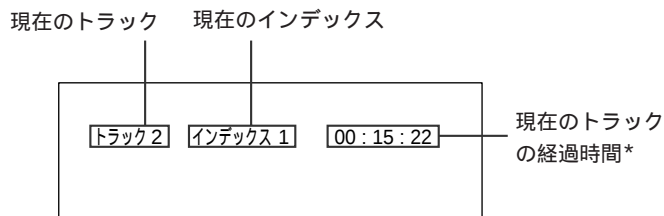
リモコンの画面表示ボタンを押す。

押すたびにテレビ画面の表示内容は次のように変わります。

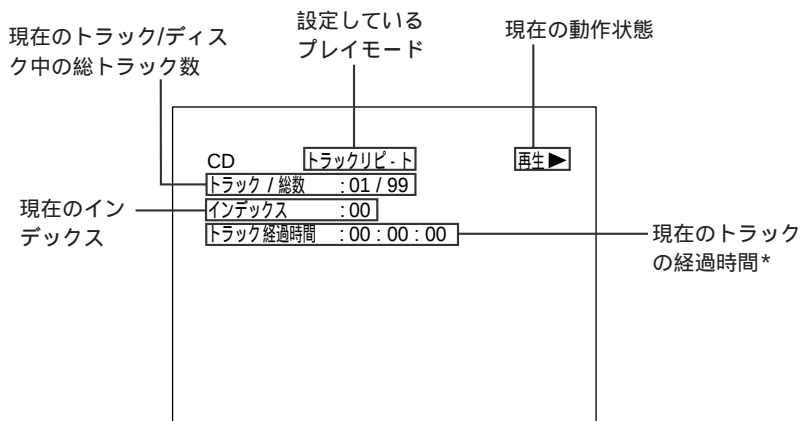


■ 画面表示 1

再生中は、トラック番号と再生時間とインデックスを常に表示します。



■ 画面表示 2

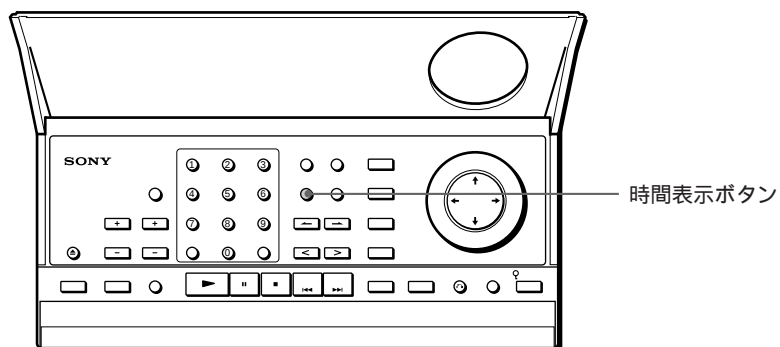


■ 画面表示 切

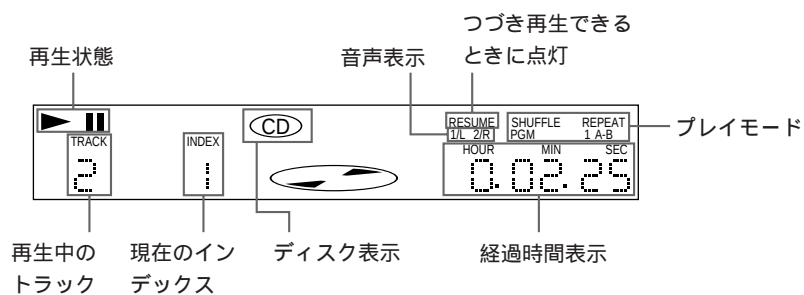
何も表示しません (メッセージなどは表示されます)。

表示窓の見かた

表示窓を使って、CD内の全トラック数や残りのトラック数、残り時間などを調べることができます。



■ 再生中の表示窓



再生の残り時間を調べる

再生中、時間表示ボタンを押す。

押すたびに再生中のトラックまたはディスク全体の残り時間などが次のように表示されます。同時に画面表示1、2の時間表示も切り換わります。

ご注意

シャッフル再生、プログラム再生をしているときは、ディスク経過時間、ディスク全体の残り時間は表示されません。

再生中のトラック番号と経過時間



再生中のトラックの残り時間



ディスク経過時間



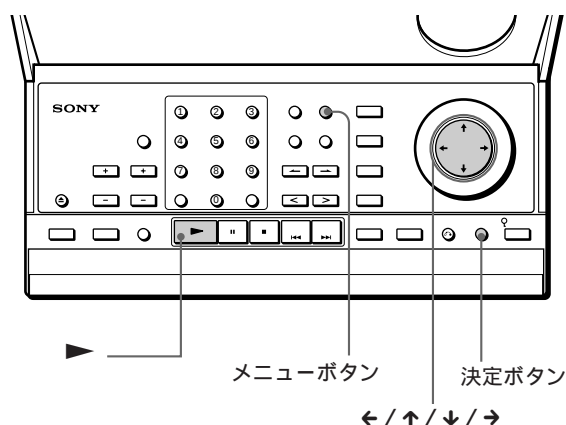
ディスク全体の残り時間



繰り返し再生する

(リピート再生)

ディスク全体(全タイトル/全トラック)または1つのタイトル/チャプター/トラックだけ、1つのタイトル/チャプター/トラック内の再生したい部分だけを繰り返し再生できます。メニューを使って設定します。メニューの操作のしかたは47ページをご覧ください。

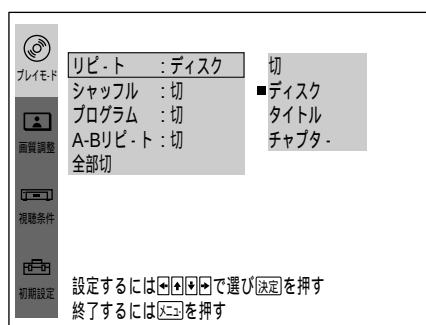


ディスク全体(全タイトル/全トラック)を繰り返し再生する

シャッフルまたはプログラム再生など曲順を変えたときは、その順で繰り返しします。

ビデオCDのPBC再生(25ページ)では、繰り返し再生できません。またDVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「ディスク」にする。



表示窓に「REPEAT」が点灯し、次のように繰り返し再生できます。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生 (14、22、30ページ)	全タイトル/全トラックを順に
シャッフル再生 (38ページ)	全タイトル/全トラックを繰り返し たびに順番を変えて
プログラム再生 (38ページ)	プログラムしたタイトル/チャプ ター/トラック順に

全タイトル/全トラックのリピート再生をやめるときはメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「切」にします。

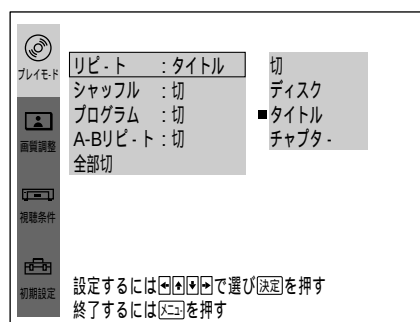
1タイトルまたは1チャプターだけを繰り返し再生する

ふつうの再生(14ページ)のときのみ、1つのタイトルまたはチャプターだけを繰り返し再生できます。DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

■ 1タイトルを繰り返し再生する

繰り返すタイトルの再生中、メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「タイトル」にする。

表示窓に「REPEAT 1」が点灯し、再生中のタイトルが繰り返し再生できます。



■ 1チャプターを繰り返し再生する

繰り返すチャプターの再生中、メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「チャプター」にする。

表示窓に「REPEAT 1」が点灯し、再生中のチャプターが繰り返し再生できます。

1タイトルまたは1チャプターだけのリピート再生をやめるときは

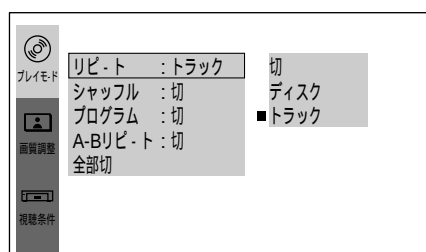
メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「切」にします。

1トラックだけを繰り返す



ふつうの再生(22、30ページ)のときのみ、1つのトラックだけを繰り返し再生できます。

繰り返したいトラックを再生中、メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「トラック」にする。



表示窓に「REPEAT 1」が点灯し、再生中のトラックが繰り返し再生できます。

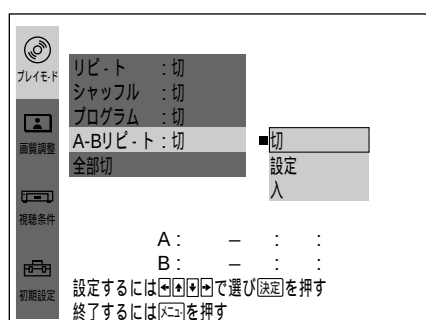
1トラックだけのリピート再生をやめるときはメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「リピート」を「切」にします。

再生したい部分だけを繰り返す

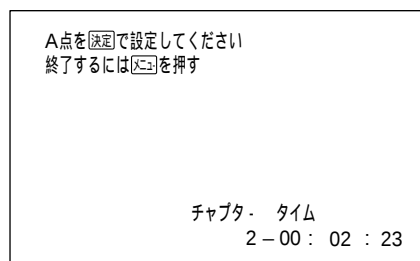
(A↔Bリピート)

再生したい部分を指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。ビデオCDのPBC再生(25ページ)では、動画の再生中にだけできる操作です(動画の部分だけで繰り返す部分を指定できます)。DVDによっては繰り返し再生ができない場合があります。

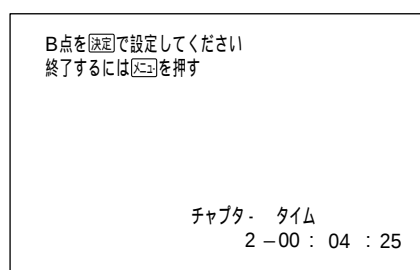
- 1 再生中にメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」を「A-B リピート」にする。



- 2 ↑/↓で「設定」を選び、決定ボタンを押す。再生中のディスクのチャプター/トラック番号と時間が表示され、A点の設定の画面が出ます。



- 3 繰り返す部分の始点(A点)で決定ボタンを押す。終点(B点)の設定画面が出ます。また表示窓に「REPEAT A —」が点灯します。



- 4 繰り返す部分の終点(B点)でもう1度決定ボタンを押す。表示窓に「REPEAT A — B」が点灯して再生が始まり、指定した部分を繰り返します。

A↔Bリピートをやめるときはメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「A-Bリピート」を「切」にします。

設定を途中でやめるときはメニューボタンを押します。

- 💡 A↔B リピートをやめたあとも、設定したA↔B リピートは残っています。1度 A↔Bリピートをやめたあとで、もう一度A↔B リピートをしたときは、手順2で↑/↓で「入」を選んで決定ボタンを押します。

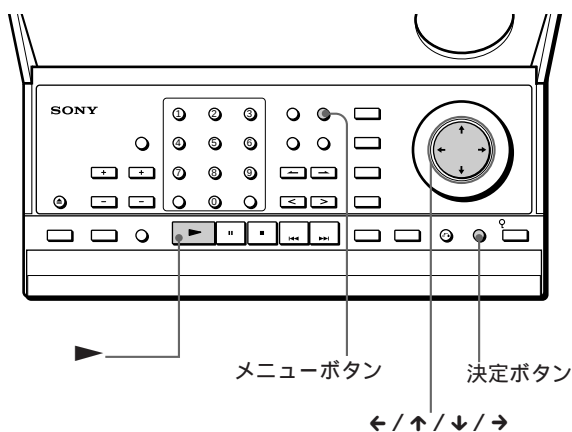
ご注意

- 次のときには、設定したA↔Bリピートは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- A↔Bリピートを設定すると、シャッフル再生やプログラム再生は解除されます。
- DVD、ビデオCDの場面によっては、A↔Bリピートの設定ができない場合があります。

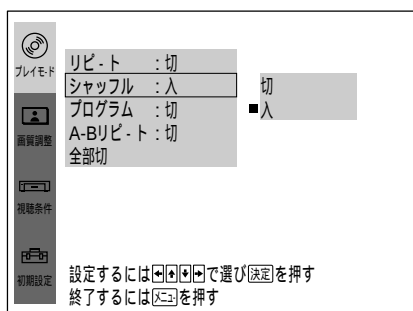
順不同に再生する

(シャッフル再生) **DVD** **VIDEO CD** **CD**

ディスク上のタイトル番号やトラック番号に関係なく、本機がランダム(無作為)に順番を選んで、ひと通り再生します。メニューを使って設定します。メニューの操作のしかたは47ページをご覧ください。



- 1 メニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「シャッフル」を「入」にする。



- 2 ▶を押す。

シャッフル再生が始まります。
(再生中は手順1のみでシャッフル再生が始まります。)

シャッフル再生からふつうの再生に戻すときはメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「シャッフル」を「切」にします。

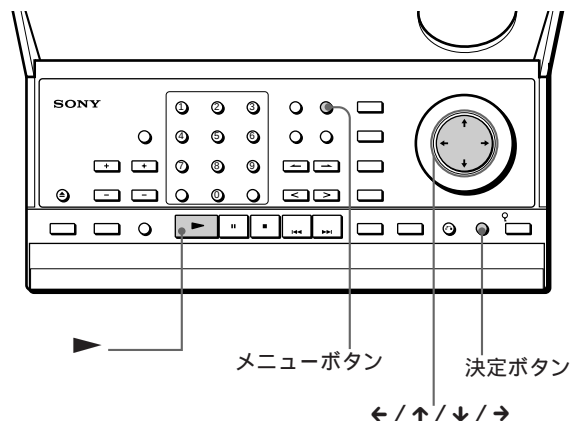
ご注意

- 電源コードをコンセントから1度抜くと、ふつうの再生に戻ります。
- DVDによってはシャッフル再生ができない場合があります。

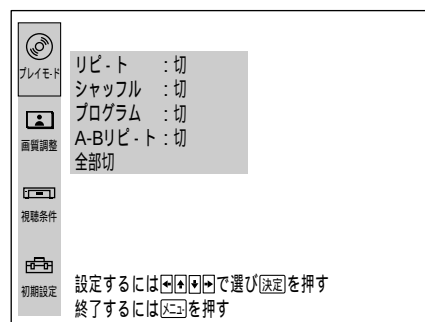
好きな順に再生する

(プログラム再生) **DVD** **VIDEO CD** **CD**

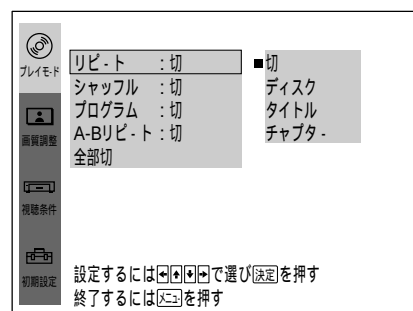
タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生できます。最大99まで、再生したい順にプログラムできます。



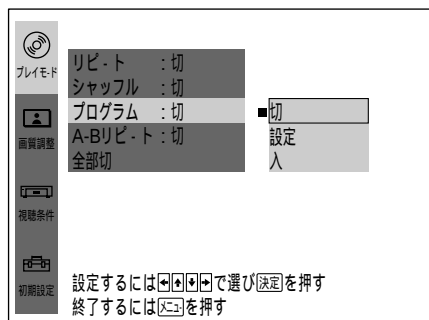
- 1 メニューボタンを押す。
メニューが出る。



- 2 画面の左の項目から↑/↓で「プレイモード」を選んで、→を押す。



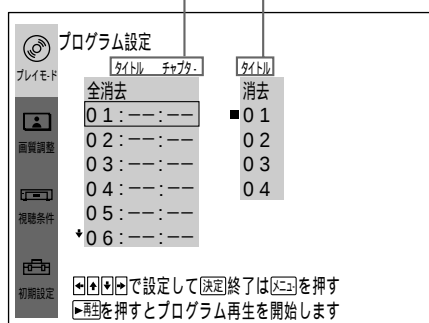
- 3 ↑/↓ で「プログラム」を選んで、→ を押す。



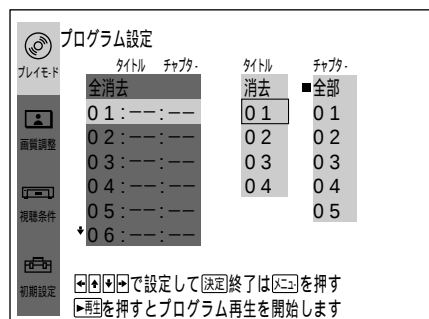
- 4 ↑/↓ で「設定」を選んで、→ を押す。

プログラム設定画面が出る。

ビデオCDとCDではトラックと表示されます



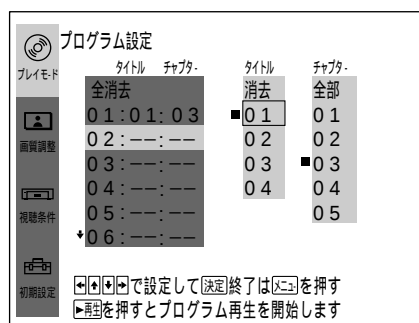
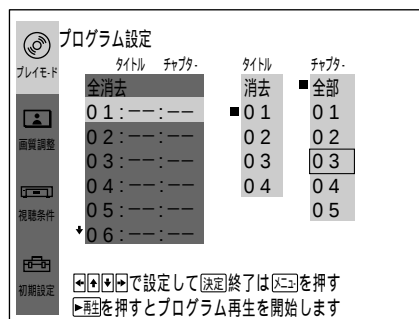
- 5 → を押す。
プログラム01が選ばれる。



- 6 再生したいタイトル/チャプター/トラックを ↑/↓ で選んで、決定ボタンを押す。(数字ボタンで選んで、決定ボタンを押して選択することもできます。このとき選択した番号が画面右上に表示されます。)

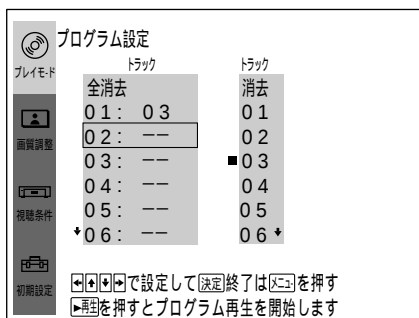
■ DVDのとき

タイトルとチャプターの両方が記録されている場合は、タイトルを選んでから、チャプターを選択する。



■ ビデオCDまたはCDのとき

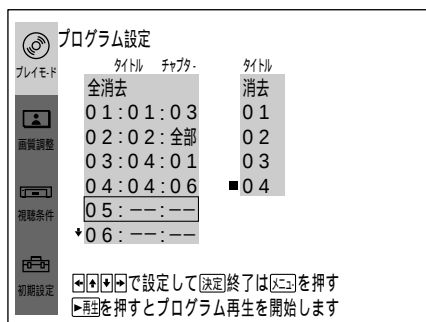
ディスクに記録されているトラックの中から再生するトラックを選ぶ。



(次ページへ続く)

7 他に再生するタイトル/チャプター/トラックを設定したいときは、手順6を繰り返す。

選択したタイトル/チャプター/トラックがプログラム設定画面の 02、03、... に順に表示される。



ご注意

- タイトル/チャプター/トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。
- 次のときには設定したプログラムは消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき
- DVDによってはプログラム再生ができない場合があります。

8 ▶を押す。

設定した順に再生が始まります。

プログラム再生からふつうの再生に戻すときはメニューボタンを押してメニューを出し、「プレイモード」の「プログラム」を「切」にします。

プログラムの設定をやめるときはメニューボタンを押す。

プログラムの設定を変更するときは手順5で、↑/↓を使って変更したいプログラム番号を選びます。そのあと手順6の操作で新しい設定を入力します。

設定したプログラムを消すにはすべて消すときは、手順5で「全消去」を選びます。ひとつだけ消すときは、手順5で↑/↓を使って消したいプログラム番号を選んでから、手順6で「消去」を選びます。

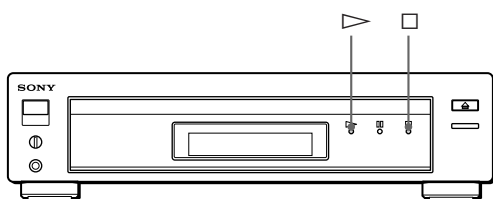
💡 プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。
▶を押すと、同じプログラムをもう1度再生します。

💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」もできます。
プログラムを設定した状態で、メニューの「プレイモード」の「リピート」(ディスクリピートのみ)や「シャッフル」を設定して再生します。

再生を止めたあと、そのつづきから再生する

(つづき再生) **DVD** **VIDEO CD** **CD**

再生を止めたあと、表示窓の「RESUME」が点灯していると、本機が再生を止めた場所を覚えています。このときは、そのつづきから再生できます。ディスクを取り出さない限り、つづき再生は電源を切っても使えます。



1 ディスクの再生中、□を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」が点灯します。また、テレビ画面には「次に再生するときは今のつづきから再生します」と表示されます。

「RESUME」が点灯しないときはつづき再生はできません。

2 ▷を押す。

手順1で再生を止めた場所から、再生が始まります。

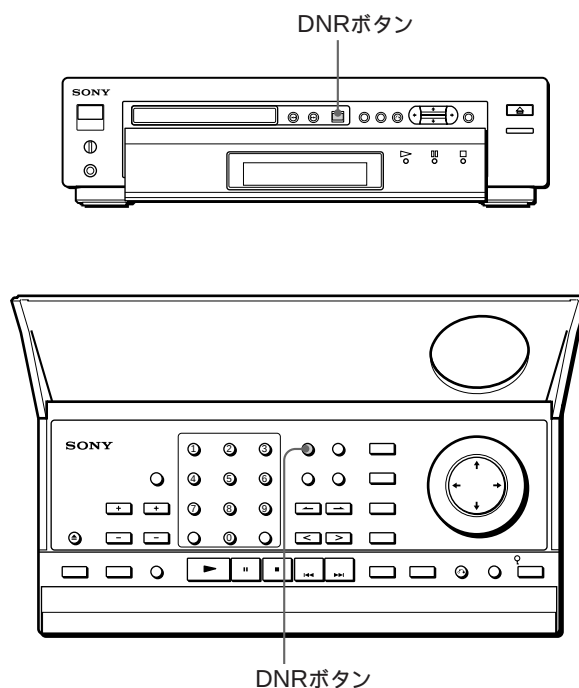
💡 ディスクを最初から再生したいときは停止中に「RESUME」が点灯しているとき、□を押して「RESUME」表示を消してから、▷を押します。

ご注意

- DVDによってはつづき再生ができない場合があります。
- シャッフルまたはプログラム再生ではできません。
- 再生を止めた場所によっては、つづきからの再生がずれて始まる場合があります。
- 次のときには場所の記憶は消えます。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源コードを抜いたとき
 - プレイモードを変えたとき
 - タイトルやチャプター、トラックを選んでから、再生を始めたとき
 - メニューの「初期設定」の「画像アスペクト」、**「DVDメニュー言語」**、「視聴年齢制限」の設定を変更したとき

画像の背景のちらつきをおさえる(DNR*) **DVD** **VIDEO CD**

画像のちらちらした背景のノイズをおさえて、すっきりさせることができます。



DNRボタンを押す。

押すたびにDNRの値が次のように変わります。値を大きくするほどノイズをおさえることができますが、画面の残像も増えることがあります。

1 → 2 → 3 → 切
↑

お買い上げ時は「1」に設定されています。

ご注意

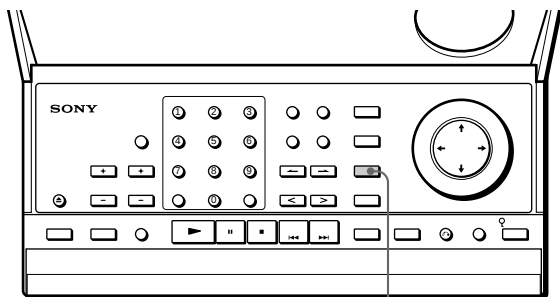
- ディスクによってはDNRの効果がわかりにくいことがあります。
- 次のときにはDNRの設定は「1」に戻ります。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 電源をOFFにしたとき

* DNRとはデジタルビデオノイズリダクションの略です。

音声を切り換える

DVD **VIDEO CD** **CD**

DVDの中には、複数の言語(マルチランゲージ)で音声記録されているものがあります。このようなDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えられます。またカラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります。このときの音声はモノラルです。



音声切換ボタン

再生中、音声切換ボタンを押す。

押すたびに、表示とスピーカーから聞こえる音声が切り換わります。

■ DVDのとき

音声1 → 音声2 → ...



音声 1: 日本語

■ ビデオCD、CDのとき

押す回数	表示窓	聞こえる音声
1回	1/L	左チャンネルの音
2回	2/R	右チャンネルの音
3回	1/L 2/R	通常のステレオ再生

 ビデオCD、CDではメニューを使って音声を切り換えることもできます。

メニューボタンを押してメニューを出し、「視聴条件」の「L/R/ステレオ」を選んで切り換えます。メニューの使い方については47ページをご覧ください。なお、CD再生時はDIGITAL OUT端子からの出力は切り換わりません。

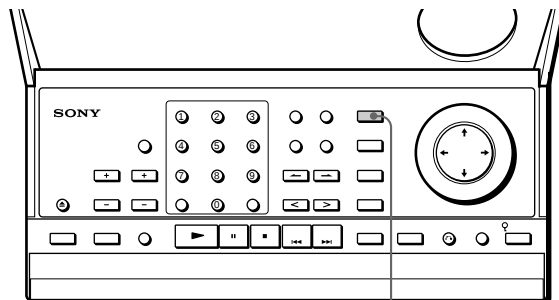
ご注意

- DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- 電源を切ると、通常のステレオ再生に戻ります。

字幕を表示する

DVD

DVDの中には、字幕が記録されているものがあります。この字幕は再生中であれば好きなときに表示したり消したりできます。



字幕入/切ボタン

再生中、字幕入/切ボタンを押す。

画面に字幕が表示されます。

表示されている字幕を消すときはもう1度字幕入/切ボタンを押します。

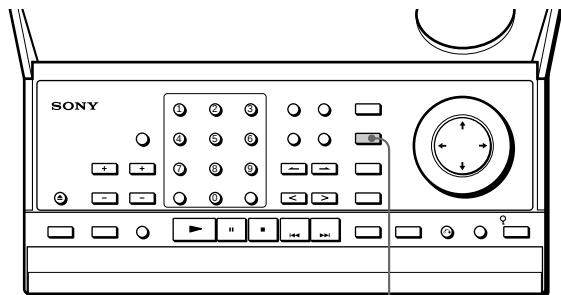
ご注意

- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示させることはできません。
- DVDによっては字幕が記録されていても、字幕表示を禁止しているものもあります。
- DVDによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。

字幕を切り換える

DVD

DVDの中には、複数の言語で字幕が記録されているものがあります。このようなDVDでは、字幕は再生中であれば好きなときに切り換えられます。



字幕切換ボタン

再生中、字幕切換ボタンを押す。
押すたびに画面の字幕が切り替わります。

字幕1 → 字幕2 → ... → 音声連動*
↑

字幕 1: 日本語

*「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

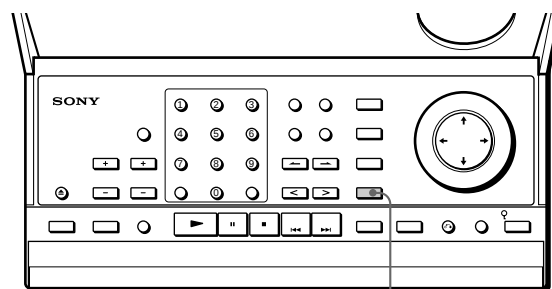
ご注意

- 記録されている字幕の言語の種類や数はDVDによって異なります。
- DVDによっては複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- DVDによっては「音声連動」が表示されても、音声の言語に合わせて字幕が切り換わらないものもあります。

アングルを切り換える

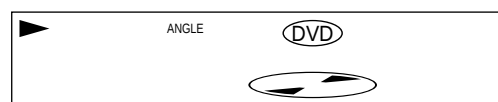
DVD

DVDの中には、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があります。このようなDVDでは、再生中であれば好きなアングルに切り換えながら見られます。



アングル切換ボタン

再生中、表示窓に「ANGLE」と表示されているときにアングル切換ボタンを押す。



押すたびに、再生中の場面のアングルが変わります。

アングル1 → アングル2 → ...
↑

アングル1

 あらかじめアングルを指定しておくことができます。

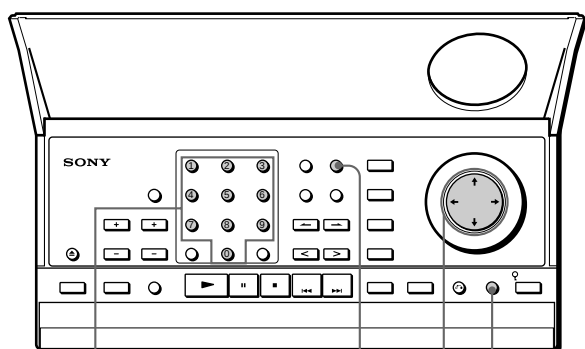
表示窓に「ANGLE」と表示されていないときにアングル切換ボタンを押しておけば、アングルを切り換えられる場面で自動的にアングルが切り換わります。

ご注意

- 切り換えられるアングルの数は、DVDによっても場面によっても異なります。DVDのその場面に記録されているアングルの数だけ切り換えることができます。
- DVDによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

年齢による視聴制限をする DVD

DVDの中には、見る人の年齢によって視聴を制限できるものがあります。本機には、この視聴制限レベルを設定しておく機能があります。



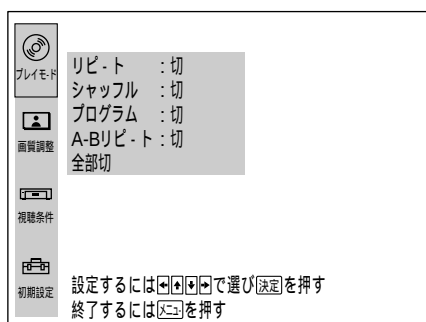
メニューボタン

決定ボタン

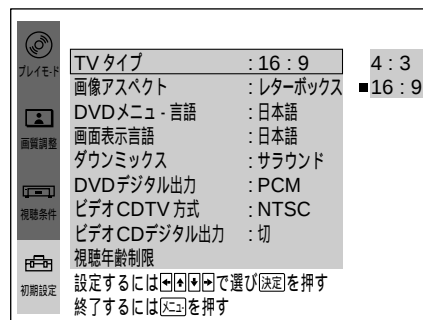
←/↑/↓/→

数字ボタン

- 1 停止中に、メニューボタンを押す。
メニューが出る。

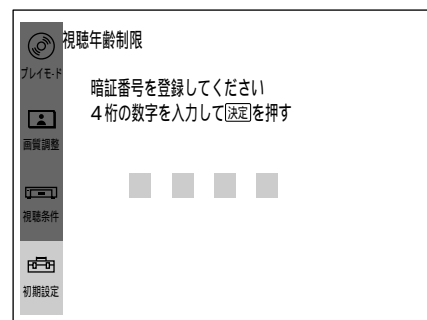


- 2 画面の左の項目から↑/↓で「初期設定」を選んで、→または決定ボタンを押す。

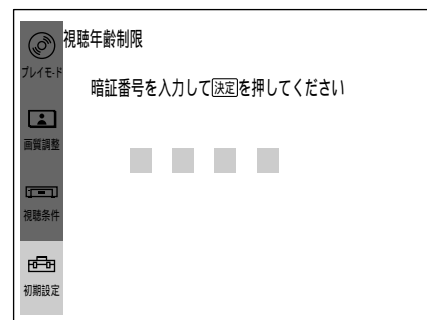


- 3 ↑/↓で「視聴年齢制限」を選んで、決定ボタンを押す。

- 暗証番号がまだ登録されていないとき
「視聴年齢制限」の暗証番号入力画面が出る。

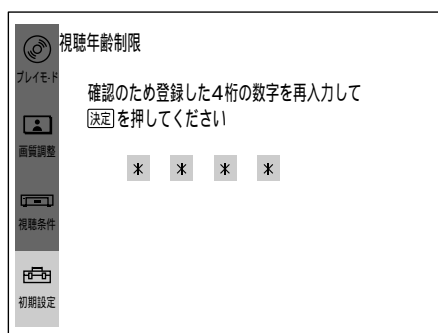


- 暗証番号がすでに登録されているとき
「視聴年齢制限」の暗証番号確認画面が出るので、手順4をとばして手順5に進む。



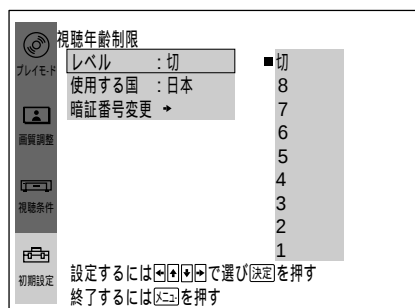
4 設定したい4けたの暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

決定ボタンを押すと数字は「*」に変わり、暗証番号確認の画面になる。

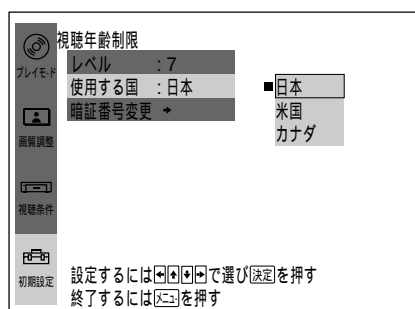


5 確認のため、設定した暗証番号を数字ボタンで入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定と暗証番号の変更の画面が出る。

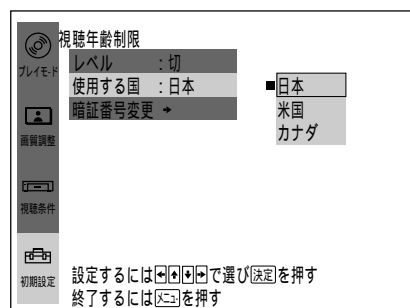


6 ↑/↓ で「使用する国」を選んで、→を押す。

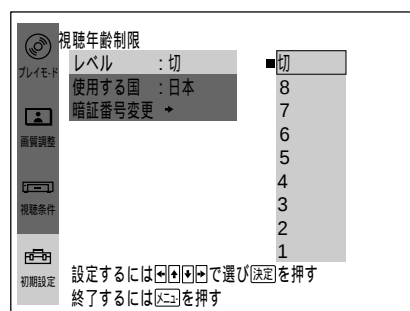


7 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする国を選んで、決定を押す。

選んだ国名の左にチェックマーク (■) が付く。

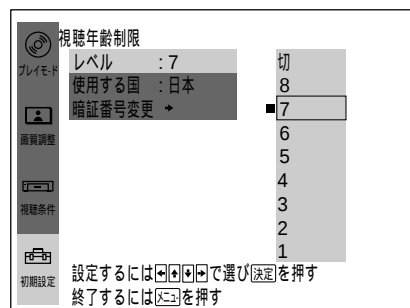


8 ↑/↓ で「レベル」を選んで→を押す。



9 ↑/↓ で設定するレベルを選んで、決定ボタンを押す。

設定したレベルの左にチェックマーク (■) が付く。



レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

その他の操作

通常の画面に戻すときは
メニューボタンを押します。

暗証番号を設定したあとで、視聴年齢制限を解除して
DVDを再生するときは
手順9で「切」を選んで再生します。

暗証番号を変更したいときは

手順5で $\uparrow/\downarrow$ を使って「暗証番号変更」を選択して、 $\rightarrow$ または
決定ボタンを押すと、暗証番号変更の画面が出ます。このあ
ともう1度手順4から手順5の操作をすれば、新しい暗証番号
が登録されます。



設定した暗証番号を忘れてしまったときは

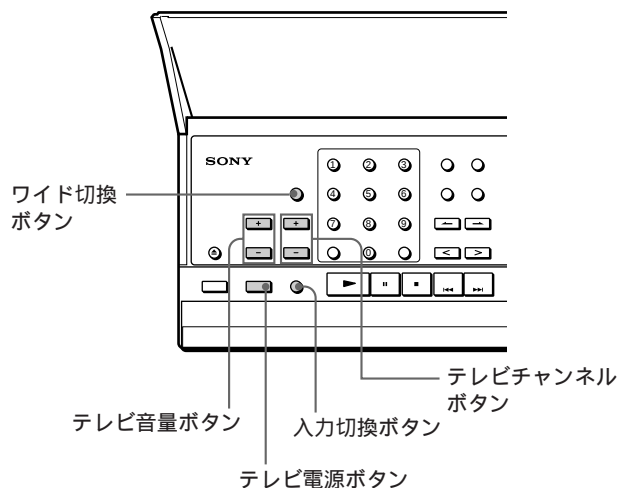
手順4で暗証番号の代わりに数字「199703」を入力しま
す。これにより以前の暗証番号が消えます。暗証番号を
再度設定するときは、もう1度手順1からやり直してくだ
さい。

ご注意

- ・ 視聴年齢制限がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生
は制限できません。
- ・ 暗証番号の設定をしないと、設定値の変更ができません。
- ・ DVDによっては、再生中に視聴制限レベルの変更を要求さ
れることがあります。このときは暗証番号を入力してレベ
ルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻
ります。

付属のリモコンでテレビ を操作する

付属のリモコンを使ってソニー製の  マーク付きテレ
ビを操作できます。

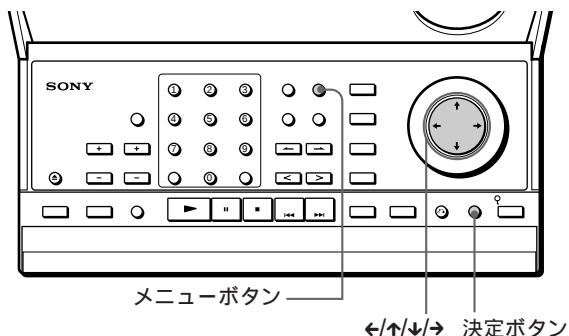


押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入 / 切する。
入力切換	テレビの入力を切り換える。
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える。
テレビ音量	テレビの音量を調節する。
テレビチャンネル	テレビのチャンネルを変える。

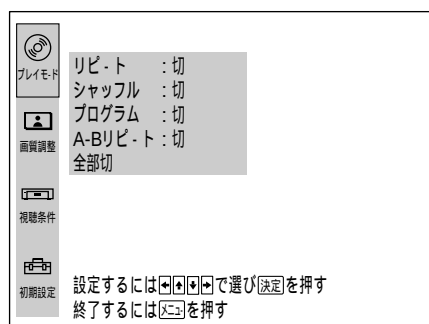
メニューでの設定/調整のしかた

メニューを使って、初期設定やプレイモードの選択、画質や音質の調整、さまざまな出力の設定などができます。また DVD を再生するときの、字幕の言語やメニューの表示言語、視聴年齢制限の設定などでもできます。メニューの項目の詳しい内容は48～52ページをご覧ください。

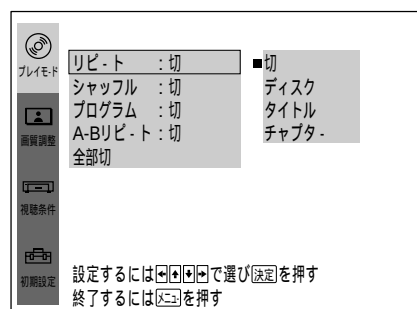
メニューでは、左から右へ順に項目を選んでいきます。画面の右の項目に進むには→を、左の項目に戻るには←を押します。



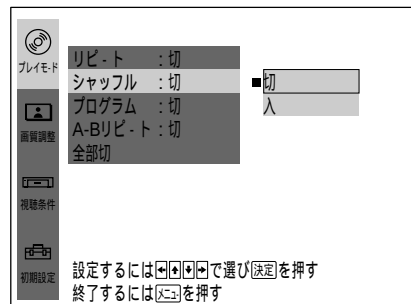
1 メニューボタンを押す。 メニューが出る。



2 画面の左の項目から↑/↓で項目を選んで、→または決定ボタンを押す。

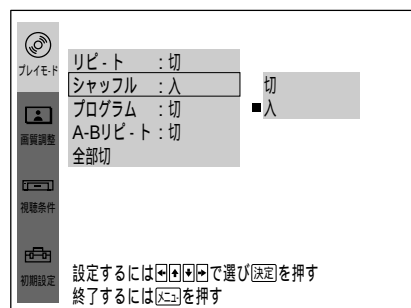


3 ↑/↓で項目を選んで、→または決定ボタンを押す。



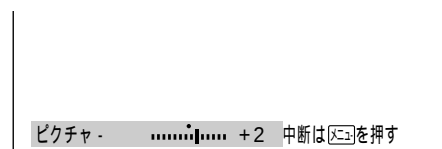
4 ↑/↓で項目を選んで、決定ボタンを押す。

選んだ項目の左にチェックマーク(■)が付く。



項目の右側に→がついているときはさらに右側に、次に選ぶ項目があります。→を押して選びます。

項目「調整」の右側に→がついているときは「調整」を選んで→または決定ボタンを押すと、調整画面が出ます。←/→で値を調整して、決定ボタンを押します。



メニューの設定を途中でやめるにはメニューボタンを押します。

ご注意

メニューの項目には、その中で項目を選ぶ以外の操作が必要なものもあります。このような項目について詳しくは、次ページからの各項目の説明に記されている参照ページをご覧ください。

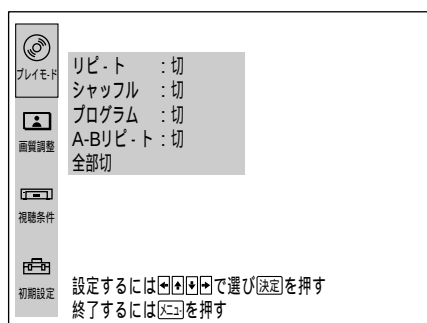
再生のしかたの設定

(プレイモード)

36～40ページのさまざまな再生のしかたを設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。

ご注意

ディスクによっては操作ができない場合があります。



■ リピート (36ページ)

繰り返し再生します。

- 切
繰り返し再生しない。
- ディスク
ディスク全体を繰り返す。
- タイトル (DVDのみ)
1つのタイトルだけを繰り返す。
- チャプター (DVDのみ)
1つのチャプターだけを繰り返す。
- トラック (ビデオCD/CDのみ)
1つのトラックだけを繰り返す。

■ シャッフル (38ページ)

順不同に再生します。

- 切
順不同 (ランダム) に再生しない。
- 入
ディスク上のタイトル/トラックの番号に関係なく、順不同 (ランダム) に再生する。

■ プログラム (38ページ)

設定したプログラムの順番で再生します。

- 切
プログラム再生しない。
- 設定
再生したいタイトル/チャプター/トラックとその順番を決定する。
- 入
設定したタイトル/チャプター/トラックを再生する。

■ A-Bリピート (37ページ)

再生したい部分だけを繰り返し再生します。

- 切
A-Bリピート再生しない。
- 設定
A点とB点の設定をする。
- 入
A点とB点の間を繰り返し再生する。

■ 全部切

プレイモードの項目をすべて「切」にする。普通の再生のときはこれを選びます。

💡 設定したプログラムで「リピート再生」や「シャッフル再生」することもできます。
「プログラム」を「入」にした状態で、「リピート」(ディスクリピートのみ)または「シャッフル」を設定して再生します。

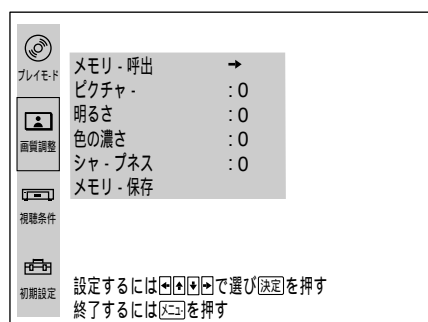
ご注意

PBC対応ビデオCDは停止中のみリピート、シャッフル、プログラム再生の設定ができます。

再生する画質の設定

(画質調整)

テレビの画質を変えないままでディスクに応じて好みの画質に調整したいときは、本機からの出力の画質を調整します。設定の途中で「調整」の項目を選んだときは、←/→で値を上下させ、決定ボタンを押します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ メモリー呼出

お買い上げ時には、代表的な調整例が登録されています。この値を使って画質調整をしたいときに呼び出します。また「画質調整」の項目を自分で調整して、その値の組み合わせを記憶させた(「メモリー保存」)ときはこの値を呼び出すことができます。

• 呼出→

- 1: 明るい部屋で明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき
- 2: 部屋を暗くして落ち着いた映像を楽しむとき
- 3: お好みによって画質を調整したいとき(すべての値が0になっています)

標準: 項目のすべての値が0になっている設定

■ ピクチャー

画像のコントラストを調整します。

• 調整→ -5 ~ 0 ~ +5

値が大きいほどコントラストが高くなる。

• 0設定

「ピクチャー」を0に設定する。

■ 明るさ

画像の明るさを調整します。

• 調整→ -5 ~ 0 ~ +5

値が大きいほど画像が明るくなる。

• 0設定

「明るさ」を0に設定する。

■ 色の濃さ

画像の色の濃さを調整します。

• 調整→ -5 ~ 0 ~ +5

値が大きいほど色が濃くなる。

• 0設定

「色の濃さ」を0に設定する。

■ シャープネス

画像の鮮明さを調整します。

• 調整→ -5 ~ 0 ~ +5

値が大きいほど画像の輪郭が強調される。

• 0設定

「シャープネス」を0に設定する。

■ メモリー保存

「画質調整」の項目を自分で調整したときは、調整した値の組み合わせを3つまで記憶させておくことができます。

• リセット

記憶させている調整値の組み合わせをすべてお買い上げ時の設定に戻す

• 1

現在の値の組み合わせを「1」に記憶させる。

• 2

現在の値の組み合わせを「2」に記憶させる。

• 3

現在の値の組み合わせを「3」に記憶させる。

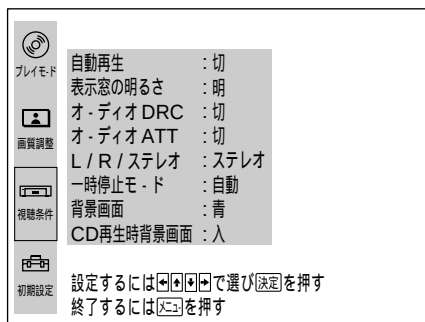
ご注意

- ディスクによっては調整した結果がわかりにくいものもあります。
- 「明るさ」の値を大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、テレビによっては画像が乱れることがあります。
- 「ピクチャー」の値を大きくしすぎると、画面によっては白つぶれを起こすことがあります。

表示や音に関する設定

(視聴条件)

再生するときの表示や音の設定を、まわりの条件に合わせて設定します。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ 自動再生

コンセントを入れたときの動作を設定します。

- 切
自動再生機能を使わない。
- タイマー
電源が入ったとき、自動で再生を始める。別売りのタイマーを使って希望の時刻に再生を始めることができます。
- デモ1
デモンストレーション1を再生する。
- デモ2
デモンストレーション2を再生する。

■ 表示窓の明るさ

本体前面の表示窓の明るさを調整します。

- 明
明るくする。
- 暗
暗くする。
- 消
表示を消す。

■ オーディオDRC

(Dynamic Range Control)

DVDの再生状態に合わせて設定します。この機能は、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子からの出力および「DVDデジタル出力」を「PCM」に設定したときのDIGITAL OUT端子の出力にはたきま (52ページ)。

- 切
通常は「切」にしておく。
- 入
夜間など音量を下げて再生するとき、小さい音までよく聞こえるようにする。

ご注意

DVDによっては効果がないこともあります。

■ オーディオATT

接続する機器に合わせてLINE OUT (AUDIO 1、2) 端子からの出力を調整します。

- 切
「オーディオATT」を働かせない。
- 入
音が歪まないように出力レベルを低くする。

ご注意

DIGITAL OUT端子からの出力には影響しません。

■ L/R/ステレオ

ビデオCDでは、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子とDIGITAL OUT端子から出力する音声を設定します。

CDでは、LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子から出力する音声を設定します。

- ステレオ
音声をステレオで出力する。
- L
Lチャンネルの音声のみを出力する。
- R
Rチャンネルの音声のみを出力する。

ご注意

CD再生時は、DIGITAL OUT端子からはステレオで出力されます。

■ 一時停止モード

DVDを一時停止したときの画像について設定します。

- 自動
動きのある画像でもぶれずに一時停止できる。通常は「自動」にしておく。
- フレーム
動きのない画像を特に高解像度で一時停止したいときに「フレーム」にする。

ご注意

- この設定は、再生中に「オートポーズ」になったときには働きません。
- 「フレーム」に設定すると、スロー再生時に画像がぶれることがあります。

■ 背景画面

停止中などの、画面の背景色を設定します。

- 青
画面の背景色を「青」にする。
- 黒
画面の背景色を「黒」にする。

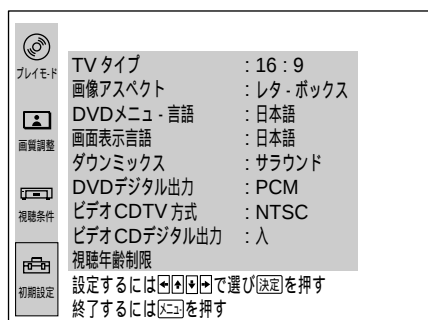
■ CD再生時背景画面

CDを再生しているときの画面表示の背景を設定します。

- 入
本機が用意した背景のグラフィックス画面を表示する。
- 切
背景のグラフィックス画面を表示しない。

基本的な設定(初期設定)

CD/DVDプレーヤーを設置するときや他の機器を接続するときに必要な設定をします。またDVDやビデオCDのより進んだ使いかたをするための設定もここでを行います。お買い上げ時は下線の付いている項目に設定されています。



■ TVタイプ

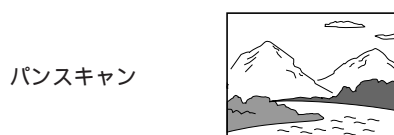
接続するテレビのアスペクト比を設定します。

- 4:3
通常のテレビのとき。
- 16:9
ワイドテレビのとき。

■ 画像アスペクト

通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形を設定します。

- レターボックス
横長に表示して、画面の上下には帯を入れる。
- パンスキャン
ワイド画像の一部を自動的にカットして、画面全体に表示する。



ご注意

DVDによっては再生できるアスペクト比が固定されているものもあります(9ページ「DVDに表示されているマークの説明」)。

■ DVDメニュー言語

DVDに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語
- 中国語
- スペイン語
- フランス語
- イタリア語
- ドイツ語
- ポルトガル語
- オランダ語
- その他→

「その他→」を選んだときは、61ページの言語コード一覧表から言語番号を選んで数字ボタンで入力してください。

ご注意

DVDに記録されていない言語を選んだ場合は、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

■ 画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

- 日本語
- 英語

■ ダウンミックス

ドルビーデジタル (AC-3) 方式で記録されているDVDを再生するときの、ダウンミックスの方式を切り換えます。

- サラウンド
ドルビーサラウンド、ドルビープロロジックサラウンドなどに対応しているオーディオ機器に接続して音を出すときは「サラウンド」にする。
- ノーマル
通常のオーディオ機器に接続して音を出すときは「ノーマル」にする。

💡「ダウンミックス」の設定は次の出力に影響します。

- LINE OUT (AUDIO 1、2) 端子の出力
- 「DVDデジタル出力」を「PCM」にしているときのDIGITAL OUT 端子の出力

(次ページへ続く)

■ DVDデジタル出力

本体後面の DIGITAL OUT 端子から出力する音声信号の方式を切り換えます。

- PCM

ドルビーデジタル (AC-3) デコーダー内蔵でないデジタルオーディオ機器につないで音を出すときは「PCM」にする。

- AC-3 Digital

ドルビーデジタル (AC-3) デコーダーを内蔵したオーディオ機器につないで音を出すときは「AC-3 Digital」にする。

ご注意

「DVDデジタル出力」の項目を誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがあります。

■ ビデオCDTV方式

ビデオCDのTV方式はNTSCのみになります。

- NTSC

■ ビデオCDデジタル出力

DIGITAL OUT端子からの、ビデオCDの音声信号出力を設定します。

- 入

デジタル音声信号を出力する。

- 切

デジタル音声信号を出力しない。

■ 視聴年齢制限

視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは44ページをご覧ください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
(チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておい

てください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、サービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

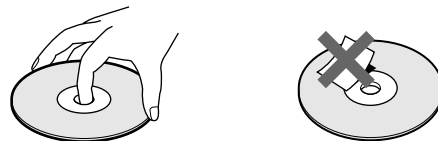
残像現象(画像の焼きつき)のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機のメニューなどの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

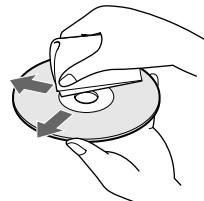


保存のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない。

- POWERスイッチのランプが点灯していなければ、電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- テレビの入力端子を間違えている(11ページ)。
- テレビの電源が入っていない。
- テレビの入力切換でCD/DVDプレーヤーの映像が映るようにしていない。

音が出ない。

- 接続コードのプラグがしっかり差し込まれていない。
- 接続コードが断線している。
- アンプの入力端子を間違えている(11ページ)。
- アンプまたはテレビの電源が入っていない。
- アンプの入力切換でCD/DVDプレーヤーの音声が出るようにしていない。
- 一時停止、スロー再生になっている。
- 早送り1、2/早戻し1、2になっている。
- オーディオ用光伝送(同軸)ケーブルで接続したアンプと、本機のメニュー「初期設定」の「ダウンミックス」、「DVDデジタル出力」、「ビデオCDデジタル出力」の設定が適切でない(51、52ページ)。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体との間に障害物がある。
- リモコンと本体との距離が離れている。
- 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。
- リモコンの電池が消耗している。

映像が乱れる。

- ディスクに汚れ、傷がある。
- 本機はマクロピジョンのコピー防止機能に対応しています。DVDによっては、コピー禁止信号が記録されているものがあり、一部のテレビ、プロジェクターでは、そのディスクを再生した場合、映像が乱れることがあります。

本機の映像出力をビデオデッキを経由して、テレビに接続すると映像が乱れる。

- このような接続はおすすめでできません。11ページの手順で、本機の映像出力を直接テレビの映像入力に接続します。

DVDの映像をビデオデッキに録画し再生すると、映像が乱れる。

- 本機はマクロピジョンのコピー防止機能に対応しています。DVDによってはコピー禁止信号が記録されているものがあり、ビデオデッキに録画し再生すると映像が乱れます。

雑音が多い。

- ディスクに汚れ、傷がある。

再生が始まらない。

- ディスクが入っていない。(テレビ画面に、「ディスクを入れてください」の表示が出ている。)
- ディスクが裏返しに入っている。(再生面を下にする。)
- ディスクが斜めにずれて入っている。
- ディスクに汚れ、傷がある。
- CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている(9ページ)。
- 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。(8ページ)。
- 結露している。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態約1時間放置し、再度電源を入れ直してから再生を始める(53ページ)。

再生がディスクの最初から始まらない。

- メニューの「プレイモード」の項目を設定している(48ページ)。
- 「つづき再生」になっている。停止中に、本体またはリモコンの■(停止)ボタンを押し、表示窓の「RESUME」を消してから、再生を始める(41ページ)。
- 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面に入るディスクを入れている(17、18、25ページ)。

DVDのタイトルを選択しても、再生が始まらない。

- 視聴年齢制限の機能が働いている(44ページ)。

再生が自動的に始まる。

- 自動的に再生が始まるDVDを入れている。

ストップ、サーチ、スロー等の操作ができない。

- 操作を禁止しているディスクを再生している(8ページ)。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

プレイモードのいろいろな再生(シャッフル再生、プログラム再生等)ができない。

- DVD、ビデオCDによってはできない場合があります。

画面に英語でメッセージが表示される。

- メニューの「初期設定」の「画面表示言語」が「英語」になっている(51ページ)。

音声言語を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。

字幕を変更できない。

- 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。

字幕を消すことができない。

- 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。

アングルを変更して見るができない。

- 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- 表示窓の「ANGLE」が点灯していない場合で、アングルを切り換えている(43ページ)。
- アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

DVDのワイド画像を再生したときに、画像アスペクト比を変更できない。

- 画像アスペクト比が固定されているディスクを再生している(9,51ページ)。

ビデオCDのメニュー画面が表示されない。

- PBC対応でないビデオCDを再生している。
- PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。(ビデオCDの取扱説明書もあわせてご覧ください。)

ビデオCD、CDを再生したときに、音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる

- リモコンの「音声切換」かメニューの「視聴条件」の「L/R/ステレオ」の設定でモノラルを選択している(表示窓の「1/L」または「2/R」が点灯している)(42,50ページ)。

スロー再生時に画像がぶれる

- メニューの「視聴条件」の「一時停止モード」が「フレーム」になっている(50ページ)。

ご注意

静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源コンセントを抜き差しして、もう一度動作させてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: DVP-S7000
- 故障の状態: できるだけ詳しく
- 故障したときに再生していたディスク:
- 購入年月日:
- お買い上げ店:

主な仕様

システム

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	EIAJ標準、NTSCカラー方式
音声特性	
周波数特性	DVD (PCM再生時): 2Hz ~ 22kHz (±0.5dB)* CD : 2Hz ~ 20kHz (±0.5dB)*
信号対雑音比 (S/N比)	107dB以上*
全高調波ひずみ率	0.0028%以下*
ダイナミックレンジ	97dB以上*
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001% W PEAK) 以下*

入出力端子

端子名	端子形状	最大出力 レベル	負荷インピー ダンス
LINE OUT (AUDIO 1,2)	ピンジャック	2Vrms (50kΩ)	10kΩ 以上
DIGITAL OUT (OPTICAL)	光出力 コネクター	-18dBm	発光波長 660nm
DIGITAL OUT (COAXIAL)	ピンジャック	0.5 V _{P-P}	75Ω 終端
LINE OUT (VIDEO)	ピンジャック	1.0V _{P-P}	75Ω 同期負
S VIDEO OUT	4ピンミニ DIN	輝度信号 : 1.0V _{P-P} 色信号 : 0.286 V _{P-P}	75Ω 同期負 75Ω 終端
COMPONENT VIDEO OUT (Y,B-Y,R-Y)	ピンジャック Y: 1.0V _{P-P} B-Y、R-Y: 0.7V _{P-P}		75Ω 同期負 75Ω 終端
PHONES	ステレオ標準 ジャック	12mW (可変最大)	8Ω 以上
CONTROL-S	ミニジャック		

電源、その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	28W
最大外形寸法	430×111×395mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約 7.0kg
許容動作温度	5 ~ 35°C
許容動作湿度	5 ~ 90%

付属品

10ページをご覧ください。

* EIAJ (日本電子機械工業会) の規格による測定値です。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

視聴年齢制限

国ごとの規制レベルに合わせて視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能のひとつ。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがある。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲の区切りのいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号という。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号という。

トラック

CDやビデオCDに記録されている、映像や曲の区切り(1曲分)のこと。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号という。

ドルビーデジタル(AC-3)

ドルビー社の開発した音声のデジタル圧縮技術であり、5.1チャンネル・サラウンドに対応している。ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続すれば、より臨場感のある音声が楽しめる。

ビットレート

DVDに圧縮して記録されている画像の、1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps(Mega bit per second)で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。この値が大きいくほど画像の情報量は多くなるが、必ずしも画質とは直接関係しない。

ビデオCD

動画の記録されているCD。

ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、映像情報を平均約140分の1に圧縮している。これにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できる。

また、音声情報についても、人間には基本的には聴こえない音声を圧縮して記録し、従来の音楽用CDと比較すると、音声情報も約6分の1に圧縮している。ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC(プレイバックコントロール)機能を持ったバージョン2.0がある。

マルチアングル

DVDの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル(カメラの位置)で記録されていること。

マルチランゲージ

DVDの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕が複数の言語で記録されていること。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面(選択画面)を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめる。

DVD

CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB(Giga Byte)とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

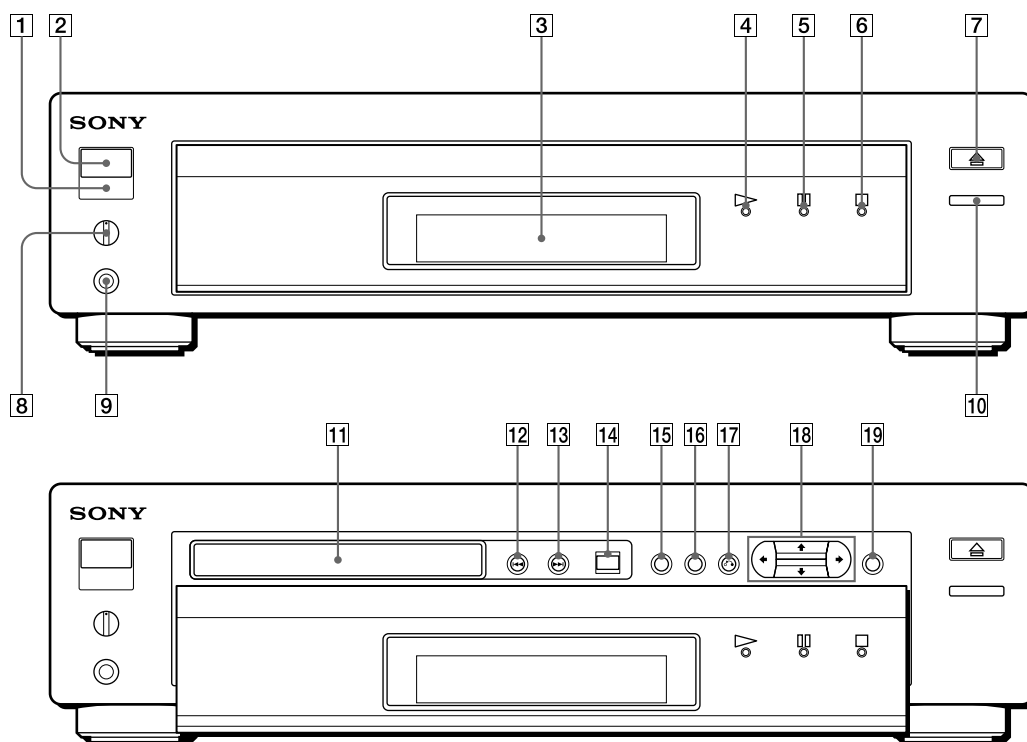
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」(エムペグ2)を採用し、映像データを約1/40(平均)に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタル(AC-3)を用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

各部のなまえ

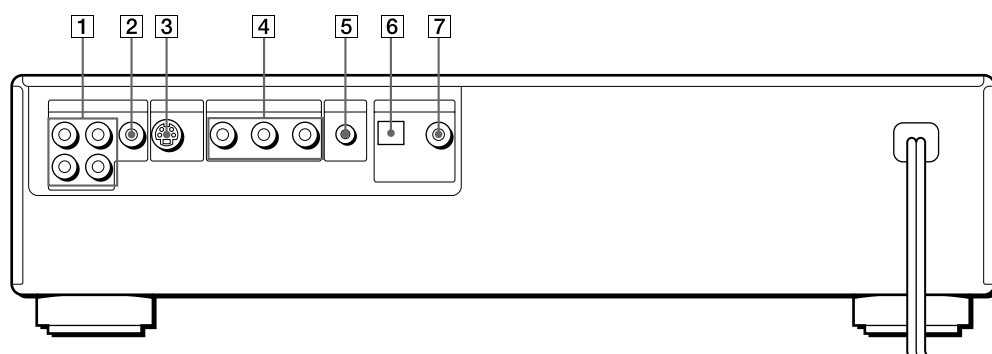
詳しい説明は()内のページをご覧ください。

本体前面



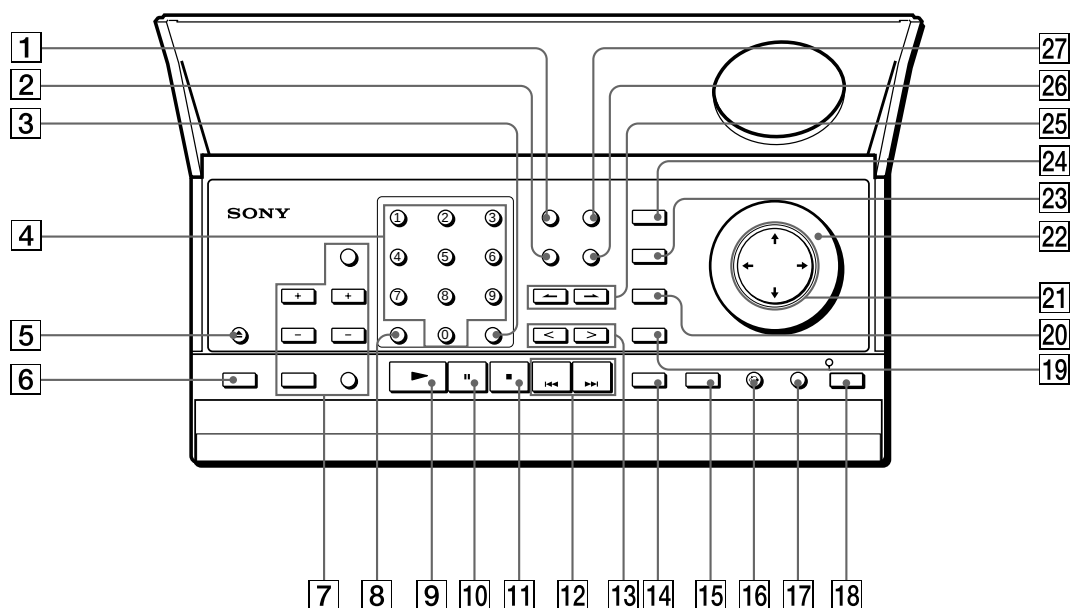
- ① ㊦ (リモコン受光部) (10)
リモコンからの信号を受信する。
- ② POWER (電源) スイッチとランプ (14、22、30)
電源を入/切するときに押す。
- ③ 表示窓 (20、28、34)
再生時間などを表示する。
- ④ ▷ PLAY (再生) ボタン (14、22、30)
再生するときに押す。
- ⑤ ⏸ PAUSE (一時停止) ボタン (15、23、31)
再生を一時停止するときに押す。
- ⑥ □ STOP (停止) ボタン (15、23、31、41)
再生を止めるときに押す。
- ⑦ ㊦ OPEN/CLOSE (開/閉) ボタン (15、23、31)
ディスクトレイを出し入れするときに押す。
- ⑧ PHONE LEVEL (ヘッドホン音量) つまみ (14、22、30)
ヘッドホンの音量を調節する。
- ⑨ PHONES (ヘッドホン) 端子 (14、22、30)
ヘッドホンをつなぐ。
- ⑩ PANEL UP/DOWN (パネル開閉) ボタン (14、22、30)
前面パネルを開閉するときに押す。
- ⑪ ディスクトレイ (14、22、30)
再生するディスクを入れる。
- ⑫ ◀◀ PREV (前) ボタン (15、23、31)
前の場面や曲に戻すときに押す。
- ⑬ ▶▶ NEXT (次) ボタン (15、23、31)
次の場面や曲に進めるときに押す。
- ⑭ DNR ボタン (41)
画面のちらつきノイズをおさえたいときに押す。
- ⑮ TITLE (タイトル) ボタン (17)
タイトルメニューを出すときに押す。
- ⑯ DVD MENU (DVDメニュー) ボタン (18)
DVDメニューを出すときに押す。
- ⑰ ◀ RETURN (リターン) ボタン (25)
おもにひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。
- ⑱ ⬅ / ➡ / ⬆ / ⬇ ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- ⑲ ENTER (決定) ボタン
選んだ項目を決定するときに押す。

本体裏面



- ① LINE OUT (AUDIO 1、2) (音声出力) 端子 (11)
テレビやアンプの音声入力端子とつなぐときに使う。
- ② LINE OUT (VIDEO) (映像出力) 端子 (11)
テレビやモニターの映像入力端子とつなぐときに使う。
- ③ S VIDEO OUT (S映像出力) 端子 (11)
テレビやビデオのS映像入力端子とつなぐときに使う。
- ④ COMPONENT VIDEO OUT (コンポーネントビデオ出力) 端子 (11)
本機の出力信号に対応したコンポーネントビデオ入力端子 (Y、R-Y、B-Y) のあるテレビやプロジェクターにつなぐときに使う。
- ⑤ CONTROL S (コントロールS) 端子 (13)
他機のコントロールS端子とつなぐときに使う。
- ⑥ DIGITAL OUT (OPTICAL) (デジタル出力 (光)) 端子 (12)
光伝送ケーブルでオーディオ機器とつなぐときに使う。
- ⑦ DIGITAL OUT (COAXIAL) (デジタル出力 (同軸)) 端子 (12)
同軸ケーブルでオーディオ機器とつなぐときに使う。

リモコン



ディフェンシャル

- ① DNR ボタン (41)
画面のちらつきノイズをおさえたいときに押す。
- ② 時間表示ボタン (20、28、34)
表示窓に再生時間などを表示させるときに押す。
- ③ サーチモードボタン (15、23)
サーチをする単位(タイトル、チャプター、トラックなど)を選ぶときに使う。
- ④ 数字ボタン (15、23、31)
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- ⑤ ▲開/閉ボタン (15、23、31)
ディスクトレイを出し入れするときには押す。
- ⑥ 電源ボタン (14、22、30)
本機の電源を入/切するときには押す。
- ⑦ テレビ操作ボタン (46)
ソニー製のテレビを操作するときには使う。
- ⑧ クリアボタン (15、23、31)
選んだ数字を取り消すときに使う。
- ⑨ ► (再生) ボタン (14、22、30)
再生するときには押す。
- ⑩ ■ (一時停止) ボタン (15、23、31)
再生を一時停止するときには押す。
- ⑪ ■ (停止) ボタン (15、23、31)
再生を止めるときには押す。
- ⑫ ◀◀ (前)/▶▶ (次) ボタン (15、23、31)
前の場面や曲に戻したり、次の場面や曲に進めたりするときには押す。
- ⑬ </> (x2,x-2) ボタン (15)
DVDを約2倍速で再生するときには押す。
- ⑭ タイトルボタン (17)
タイトルメニューを出すときに押す。
- ⑮ DVDメニューボタン (18)
DVDメニューを出すときに押す。
- ⑯ ◀ (リターン) ボタン (25)
ひとつ前の選択画面に戻りたいときに押す。
- ⑰ 決定ボタン
選んだ項目を決定するときには押す。
- ⑱ ジョグボタン (16、24)
手で速さを変えながら再生したいときに押す。
- ⑲ アングル切替 ボタン (43)
DVDのアングルを切り換えるときに押す。
- ⑳ 音声切替ボタン (42)
DVDやビデオCDの音声を切り換えるときに押す。
- ㉑ ◀ / ▶ / ◀ / ▶ ボタン
画面に表示されている項目を選ぶときに使う。
- ㉒ クリックシャトル (16、24、32)
主に速さを変えながら再生したいときに使う。
- ㉓ 字幕切替ボタン (43)
DVDの字幕を切り換えるときに押す。
- ㉔ 字幕入/切ボタン (42)
DVDの字幕表示を入/切するときには押す。
- ㉕ ◀ / ▶ (インデックス) ボタン (23、31)
ビデオCDやCDで再生するインデックスを選ぶときに使う。
- ㉖ 画面表示ボタン (19、26、33)
現在の再生状態を画面に表示させるときには押す。
- ㉗ メニューボタン (47)
メニューの項目を設定/調整するときには使う。

言語コード一覧表 (くわしくは51ページをご覧ください。)

言語名表記はISO639:1988 (E/F) に準拠 (1996年12月)

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1257	Hebrew	1506	Slovenian
1028	Abkhazian	1261	Japanese	1507	Samoan
1032	Afrikaans	1269	Yiddish	1508	Shona
1039	Amharic	1283	Javanese	1509	Somali
1044	Arabic	1287	Georgian	1511	Albanian
1045	Assamese	1297	Kazakh	1512	Serbian
1051	Aymara	1298	Greenlandic	1513	Siswati
1052	Azerbaijani	1299	Cambodian	1514	Sesotho
1053	Bashkir	1300	Kannada	1515	Sundanese
1057	Byelorussian	1301	Korean	1516	Swedish
1059	Bulgarian	1305	Kashmiri	1517	Swahili
1060	Bihari	1307	Kurdish	1521	Tamil
1061	Bislama	1311	Kirghiz	1525	Telugu
1066	Bengali; Bangla	1313	Latin	1527	Tajik
1067	Tibetan	1326	Lingala	1528	Thai
1070	Breton	1327	Laothian	1529	Tigrinya
1079	Catalan	1332	Lithuanian	1531	Turkmen
1093	Corsican	1334	Latvian; Lettish	1532	Tagalog
1097	Czech	1345	Malagasy	1534	Setswana
1103	Welsh	1347	Maori	1535	Tonga
1105	Danish	1349	Macedonian	1538	Turkish
1109	German	1350	Malayalam	1539	Tsonga
1130	Bhutani	1352	Mongolian	1540	Tatar
1142	Greek	1353	Moldavian	1543	Twi
1144	English	1356	Marathi	1557	Ukrainian
1145	Esperanto	1357	Malay	1564	Urdu
1149	Spanish	1358	Maltese	1572	Uzbek
1150	Estonian	1363	Burmese	1581	Vietnamese
1151	Basque	1365	Nauru	1587	Volapük
1157	Persian	1369	Nepali	1613	Wolof
1165	Finnish	1376	Dutch	1632	Xhosa
1166	Fiji	1379	Norwegian	1665	Yoruba
1171	Faroese	1393	Occitan	1684	Chinese
1174	French	1403	(Afan)Oromo	1697	Zulu
1181	Frisian	1408	Oriya		
1183	Irish	1417	Punjabi		
1186	Scots Gaelic	1428	Polish	1703	Not specified
1194	Galician	1435	Pashto; Pushto		
1196	Guarani	1436	Portuguese		
1203	Gujarati	1463	Quechua		
1209	Hausa	1481	Rhaeto-Romance		
1217	Hindi	1482	Kirundi		
1226	Croatian	1483	Romanian		
1229	Hungarian	1489	Russian		
1233	Armenian	1491	Kinyarwanda		
1235	Interlingua	1495	Sanskrit		
1239	Interlingue	1498	Sindhi		
1245	Inupiak	1501	Sangho		
1248	Indonesian	1502	Serbo-Croatian		
1253	Icelandic	1503	Singhalese		
1254	Italian	1505	Slovak		

五十音順

あ行

アングル切り換え 43
 安全のために 2、4
 お手入れ 53
 オーディオATT 50
 オーディオDRC 50
 オートポーズ 20、29
 音声切り換え 42

か行

画質調整 49
 故障かな?と思ったら 54

さ行

サーチ 15、23
 再生
 シャッフル再生 38
 速さを変えて再生 16、24
 ふつうの再生 14、22、30
 プログラム再生 38
 リピート再生 36
 再生できるディスク 8
 視聴条件 50
 視聴年齢制限 44
 自動再生 50
 字幕
 切り換え 43
 表示 42
 シャッフル再生 38
 シャトルモード 16、24、32
 シャープネス 49
 初期設定 51
 ジョグモード 16、24
 シーン 9、23
 スロー 16、24
 接続 10

た行

タイトル 9、57
 タイトルメニュー 17
 ダウンミックス 51
 チャプター 9、57
 つづき再生 41
 ディスク
 入れる 14、22、30
 取り扱い 53
 取り出す 15、23、31
 テレビ画面に出る表示
 ビデオCD 27
 CD 33
 DVD 19
 電池 10
 トラック 9、57
 ドルビーデジタル(AC-3) 12、57

は行

早送り 16、24、32
 早戻し 16、24、32
 パンスキャン 51
 ピクチャー 49
 ビデオCD 22
 表示窓 20、28、34
 ふつうの再生 14、22、30
 プレイバックコントロール
 9、25、57
 プレイモード 48
 プログラム再生 38

ま行

メニュー 47
 画質調整 49
 視聴条件 50
 初期設定 51
 使い方 47
 プレイモード 48

ら行

リピート再生 36
 現在のタイトル、チャプター
 /トラック 36
 ディスク全体 36
 特定の部分のみ 37
 リモコン 10、46
 レターボックス 51

アルファベット順

A↔Bリピート 37
 CD 30
 DNR 41
 DVD 14
 DVDデジタル出力 52
 DVDメニュー 18
 PBC再生 25
 S映像出力 11

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
 テクニカルインフォメーションセンターへ
 フリーダイヤル 0120-37-8154

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ
 ●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111